

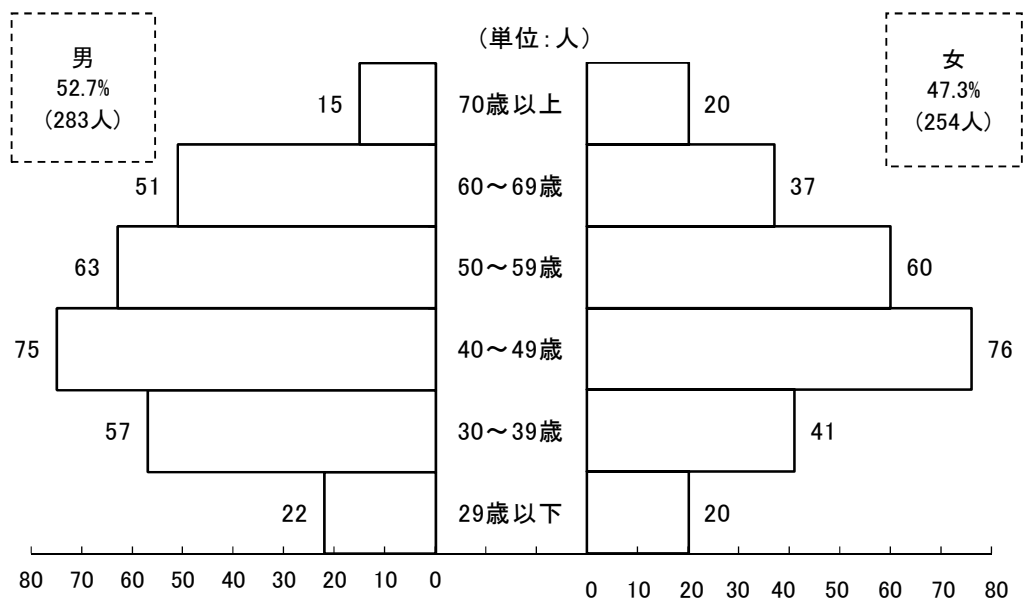
第4章 精神障害者の状況

1 基本的属性

(1) 性・年齢階級

回答者を性別にみると「男性」52.7% (283人)、「女性」47.3% (254人)である。年齢階級は男性、女性ともに40代、50代が比較的多い。(図IV-1-1)

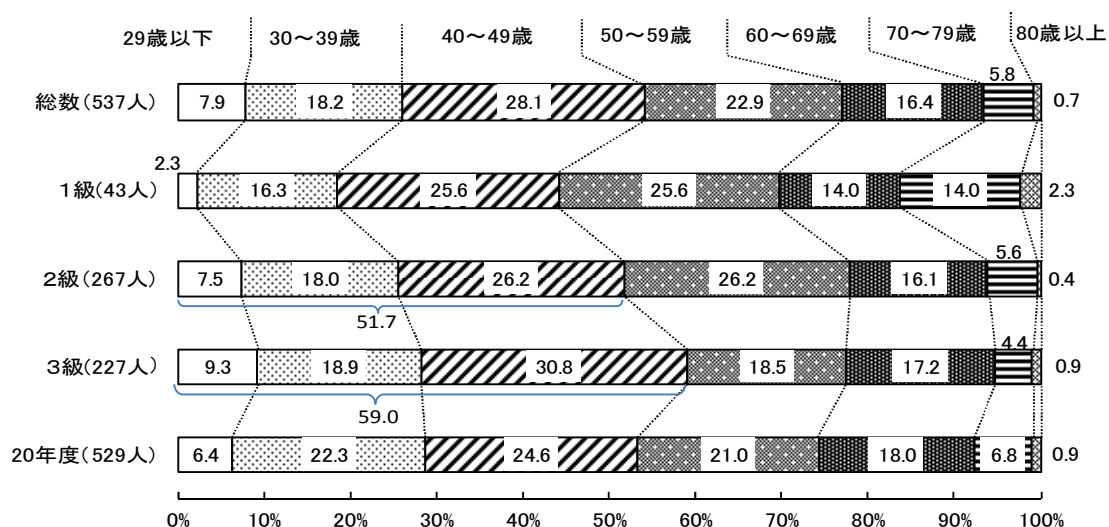
図IV-1-1 性・年齢階級



(2) 年齢階級－精神障害者保健福祉手帳の程度別

年齢階級を精神障害者保健福祉手帳の程度別にみると、2級及び3級では49歳以下の割合が5割を超えている。(図IV-1-2)

図IV-1-2 年齢階級－精神障害者保健福祉手帳の程度別



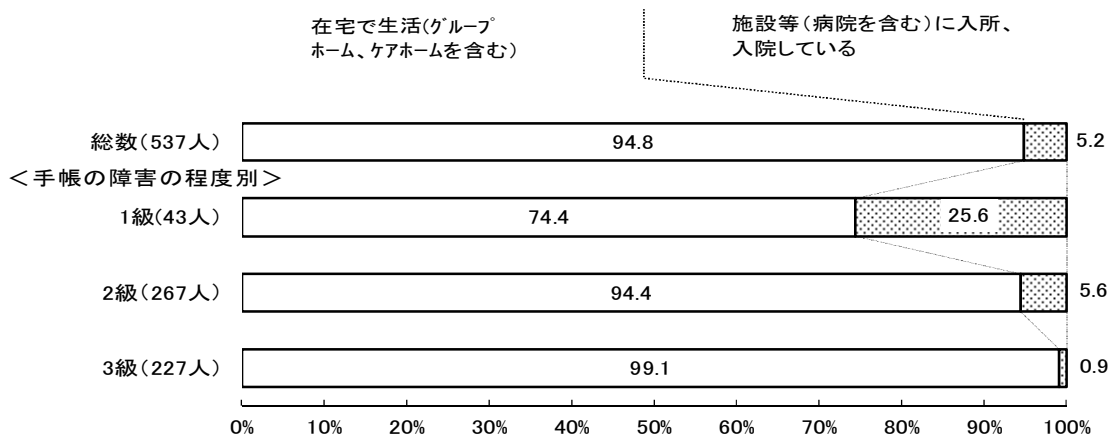
(3) 現在の生活の場－障害の程度別

「在宅で生活（グループホーム、ケアホームを含む）」している人は94.8%

現在の生活の場については、「在宅で生活（グループホーム、ケアホームを含む）」の割合が94.8%、「施設等（病院を含む）に入所、入院している」が5.2%となっている。手帳の障害の程度別にみると、1級では「施設等（病院を含む）に入所、入院している」割合が25.6%と他の程度よりも高くなっている。（図IV-1-3）

問 現在の生活の場はどこですか。

図IV-1-3 現在の生活の場－障害の程度別



(4) 住居の種類

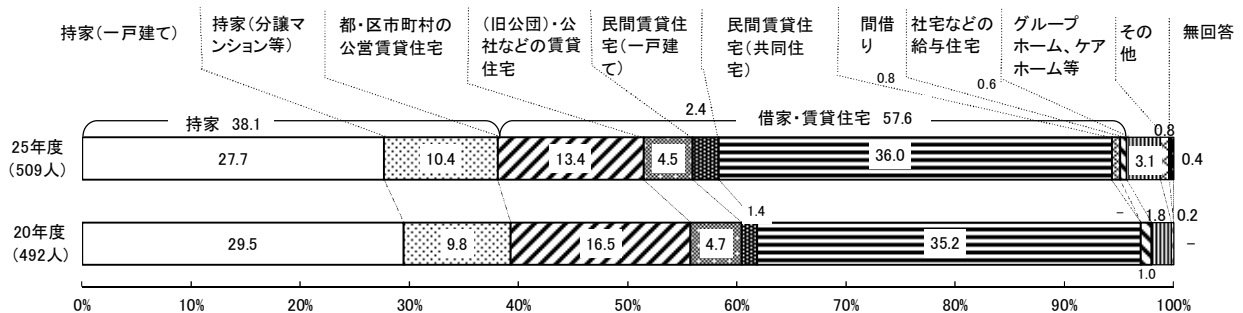
※在宅で生活している人 509 人が対象

住宅の種類は民間賃貸住宅（共同住宅）の割合が最も高く36.0%

在宅で生活をしている人（509人）の住居の種類は、「持家（一戸建て）」27.7%、「持家（分譲マンション等）」10.4%で、持家の割合が38.1%であった。一方で、民間賃貸住宅（共同住宅）36.0%を含む「借家・賃貸住宅等」の割合は57.6%となっている。（図IV-1-4）

問 あなたのお住まいの種類は次のどれですか。

図IV-1-4 住居の種類



(注)住居の種類については、所有、賃貸の名義が障害者本人と限定していない。そのため、家族等の名義になっている場合も含まれており、調査結果と所有者、賃貸の名義人とは必ずしも一致しない。

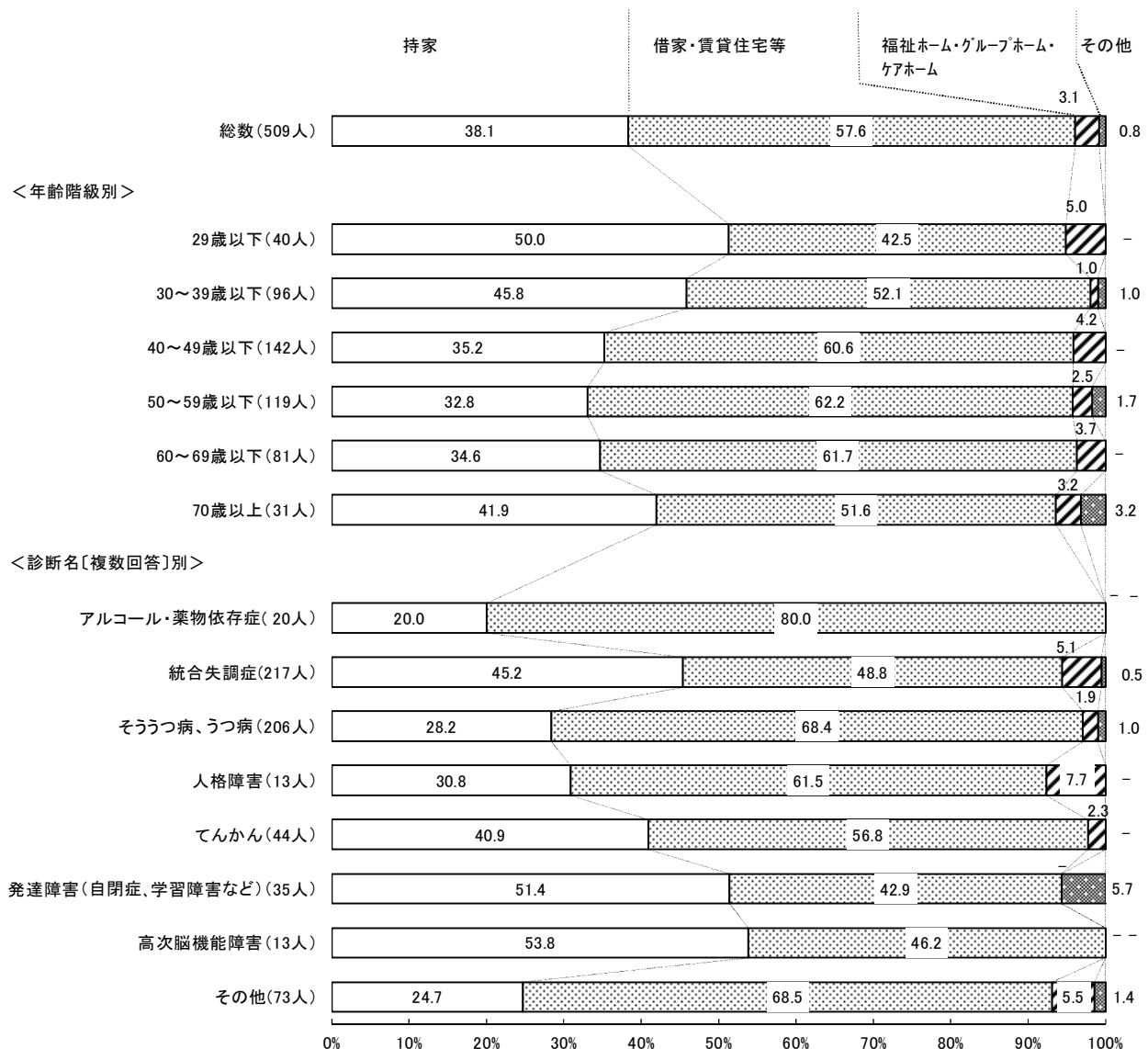
（５）住居の種類－年齢階級、診断名〔複数回答〕別

※在宅で生活している人 509 人が対象

住居の種類を年齢階級別にみると 40 代～60 代では、「借家・賃貸住宅」の割合が 6 割を超えている（40 代 60.6%、50 代 62.2%、60 代 61.7%）。

診断名別にみると、統合失調症では「福祉ホーム・グループホーム・ケアホーム」の割合が 5.1%と、総数（3.1%）に比べて高くなっている。（図Ⅳ-1-5）

図Ⅳ-1-5 住居の種類－年齢階級、診断名〔複数回答〕別



（注）「第４章 精神障害者の状況」の精神障害の診断名は「ICD-10（国際疾病分類）」（※）で主だったものを表記している。「その他」の内訳としてはパニック障害などが含まれる。

※ICD-10（国際疾病分類）とは、世界保健機構（WHO）が作成した疾病及び関連保健問題の国際統計分類のことである。

(6) 現在一緒に生活している人〔複数回答〕

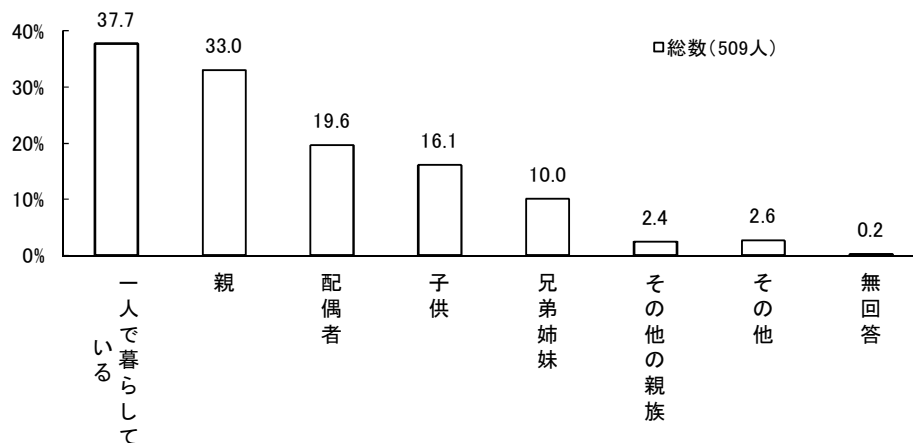
※在宅で生活している人 509 人が対象

ひとり暮らししている割合が最も高く 37.7%

調査基準日現在、だれと生活しているかをみると「一人で暮らしている」割合が最も高く 37.7%、次いで「親」の割合が 33.0%となっている。(図Ⅳ-1-6)

問 あなたは現在、だれと一緒に生活していますか。

図Ⅳ-1-6 現在一緒に生活している人〔複数回答〕



(7) 現在一緒に生活している人〔複数回答〕一年齢階級別

※在宅で生活している人 509 人が対象

一緒に生活している人を年齢階級別にみると、29 歳以下では「親」の割合が 75.0%と他の年代と比べて高く、60 歳以上では「一人で暮らしている」が 56.3%と高い。(表Ⅳ-1-1)

表Ⅳ-1-1 現在一緒に生活している人〔複数回答〕一年齢階級別

	総 数	親	配 偶 者	子 供	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	一 人 で 暮 ら し て い る	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (509)	33.0	19.6	16.1	10.0	2.4	37.7	2.6	0.2
29歳以下	100.0 (40)	75.0	10.0	5.0	35.0	15.0	15.0	-	-
30～39歳	100.0 (96)	56.3	13.5	9.4	16.7	2.1	24.0	3.1	1.0
40～49歳	100.0 (142)	35.9	21.8	19.7	7.7	0.7	33.1	4.2	-
50～59歳	100.0 (119)	21.0	20.2	21.0	6.7	2.5	44.5	1.7	-
60歳以上	100.0 (112)	7.1	25.0	16.1	1.8	-	56.3	1.8	-
(再掲)総数 65歳以上	100.0 (61)	3.3	32.8	19.7	1.6	-	50.8	-	-

(8) 現在の主な介護者一年齢階級、障害の程度別

※在宅で生活している人 509 人が対象

「^{かいごしや}介護者はいない」の割合が^{わりあい}最も高く 52.1%、主な介護者で^{おも}最も多いのは「^{ははおや}母親」の 17.7%

現在の主な介護者は誰か聞いたところ、「介護者はいない」と回答した割合が最も高く 52.1%、主な介護者の中では「母親」と回答した割合が最も高く 17.7%であった。

障害の程度別にみると、3 級では「介護者はいない」の割合が 63.6%と 6 割を超えている。
(表Ⅳ-1-2)

問 あなたの、^{げんざい}現在の主な介護者は誰ですか。

表Ⅳ-1-2 現在の主な介護者一年齢階級、障害の程度別

		総 数	父 親	母 親	配 偶 者	子 供	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	介 護 者 は い な い	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (509)	4.5	17.7	11.4	2.6	2.4	-	52.1	5.9	3.5
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (40)	7.5	40.0	7.5	-	-	-	45.0	-	-
	30～39歳	100.0 (96)	5.2	30.2	7.3	-	-	-	51.0	4.2	2.1
	40～49歳	100.0 (142)	8.5	17.6	9.9	2.1	0.7	-	54.2	4.9	2.1
	50～59歳	100.0 (119)	2.5	11.8	9.2	4.2	7.6	-	52.9	5.9	5.9
	60～69歳	100.0 (81)	-	7.4	12.3	6.2	2.5	-	56.8	8.6	6.2
	70歳以上	100.0 (31)	-	-	41.9	-	-	-	38.7	16.1	3.2
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (61)	-	-	27.9	4.9	1.6	-	44.3	13.1	8.2
福 祉 手 帳 の 程 度 別	1級	100.0 (32)	6.3	37.5	25.0	3.1	3.1	-	15.6	3.1	6.3
	2級	100.0 (252)	5.6	20.2	9.9	2.8	2.8	-	46.4	9.1	3.2
	3級	100.0 (225)	3.1	12.0	11.1	2.2	1.8	-	63.6	2.7	3.6

(9) 主な介護者の年齢・年齢階級、障害の程度別

※介護者がいると答えた 226 人が対象

おも かいごしゃ ねんれい さいいじょう わり こ
主な介護者の年齢は 65 歳以上が 4 割を超える

介護者がいる人に、主な介護者の年齢を聞いたところ、70 代が 21.7%で最も高く、次いで 60 代が 20.4%、50 代が 18.6%と続く。介護者の年齢が 65 歳以上と答えた割合は 41.6%と 4 割を超えている。

障害の程度別にみると、1 級では 70 代の割合が 40.0%となっており、総数 (21.7%) よりも 18.3 ポイント高くなっている。(表Ⅳ-1-3)

とい おも かいごしゃ ねんれい なんさい へいせい ねん がつ にちげんざい
問 主な介護者の年齢は何歳ですか (平成25年10月16日現在)。

表Ⅳ-1-3 主な介護者の年齢・年齢階級、障害の程度別

		総 数	1 9 歳 以 下	2 0 5 2 9 歳	3 0 5 3 9 歳	4 0 5 4 9 歳	5 0 5 5 9 歳	6 0 5 6 9 歳	7 0 5 7 9 歳	8 0 歳 以 上	不 明	無 回 答	(再 掲 5 歳 以 上)
総数		100.0 (226)	0.4	3.1	5.3	9.7	18.6	20.4	21.7	9.3	6.6	4.9	41.6
年齢 階級 別	29歳以下	100.0 (22)	—	4.5	4.5	9.1	54.5	18.2	—	—	9.1	—	—
	30～39歳	100.0 (45)	—	—	11.1	8.9	13.3	46.7	13.3	2.2	2.2	2.2	42.2
	40～49歳	100.0 (62)	—	3.2	4.8	19.4	3.2	6.5	43.5	6.5	8.1	4.8	54.8
	50～59歳	100.0 (49)	2.0	6.1	2.0	4.1	34.7	10.2	14.3	16.3	6.1	4.1	32.7
	60～69歳	100.0 (30)	—	3.3	6.7	6.7	10.0	23.3	13.3	20.0	6.7	10.0	46.7
	70歳以上	100.0 (18)	—	—	—	—	11.1	27.8	27.8	11.1	11.1	11.1	61.1
	(再掲) 65歳以上	100.0 (29)	—	—	6.9	3.4	13.8	24.1	24.1	6.9	6.9	13.8	51.7
福祉 手帳 の 程 度 別	1級	100.0 (25)	—	—	4.0	—	24.0	28.0	40.0	—	4.0	—	60.0
	2級	100.0 (127)	0.8	3.1	3.1	10.2	17.3	17.3	17.3	13.4	10.2	7.1	38.6
	3級	100.0 (74)	—	4.1	9.5	12.2	18.9	23.0	23.0	5.4	1.4	2.7	40.5

2 障害の状況

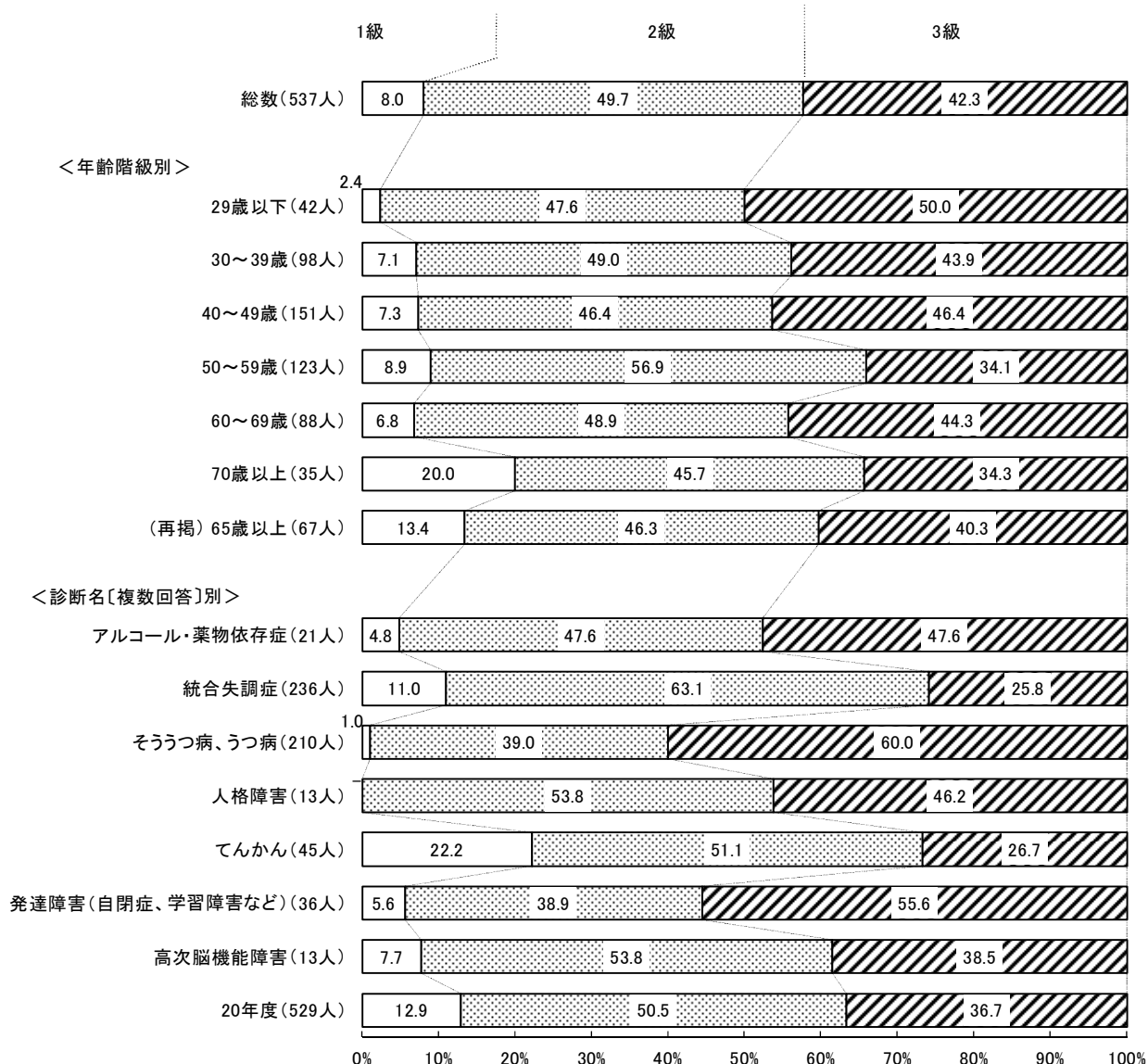
(1) 精神障害者保健福祉手帳の障害の程度一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう ていど きゅう
精神障害者保健福祉手帳の程度は「2級」が49.7%

精神障害者保健福祉手帳の程度をみると、「2級」の割合が最も高く49.7%、次いで「3級」42.3%、「1級」8.0%となっている。(図IV-2-1)

とい 問 あなたの精神障害者保健福祉手帳に記載された障害の程度は何級ですか。

図IV-2-1 精神障害者保健福祉手帳の障害の程度一年齢階級、診断名〔複数回答〕別



(2) 初診時の年齢（精神疾患にかかわる病気）一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）の初診時の年齢は「20～29歳」が 32.0%

初診時の年齢は、「20～29 歳」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「30～39 歳」が 23.3%となっている。

診断名別にみると統合失調症では、初診時の年齢が「20～29 歳」の割合が高い。

20 年度調査と比べると、初診時の年齢が「30～39 歳」と回答した割合は 5.7 ポイント上昇して 23.3%となっている。（表Ⅳ-2-1）

問 あなたが病院、診療所等の医療機関で、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）の診断を受けたときの初診時の年齢はいくつですか。

表Ⅳ-2-1 初診時の年齢（精神疾患にかかわる病気）一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

		総 数	0 5 9 歳	1 0 5 1 9 歳	2 0 5 2 9 歳	3 0 5 3 9 歳	4 0 5 4 9 歳	5 0 5 5 9 歳	6 0 歳 以 上	覚 わ え か て ら い な い ・	無 回 答
総数		100.0 (537)	2.8	17.5	32.0	23.3	11.5	6.9	2.4	3.4	0.2
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	11.9	61.9	21.4	-	-	-	-	4.8	-
	30～39歳	100.0 (98)	3.1	24.5	58.2	10.2	-	-	-	4.1	-
	40～49歳	100.0 (151)	1.3	11.9	33.1	41.7	9.3	-	-	2.6	-
	50～59歳	100.0 (123)	2.4	12.2	26.8	24.4	26.0	6.5	-	1.6	-
	60～69歳	100.0 (88)	1.1	10.2	20.5	19.3	13.6	25.0	4.5	4.5	1.1
	70歳以上	100.0 (35)	2.9	5.7	14.3	14.3	11.4	20.0	25.7	5.7	-
	（再掲）総数 65歳以上	100.0 (67)	1.5	7.5	14.9	19.4	11.9	22.4	17.9	3.0	1.5
診 断 名 〔 複 数 回 答 〕 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	-	4.8	14.3	33.3	14.3	19.0	4.8	9.5	-
	統合失調症	100.0 (236)	-	22.9	38.1	21.6	7.6	5.1	0.8	3.4	0.4
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	1.0	10.0	31.4	28.6	16.2	7.6	2.9	2.4	-
	人格障害	100.0 (13)	-	30.8	38.5	15.4	15.4	-	-	-	-
	てんかん	100.0 (45)	20.0	22.2	24.4	20.0	8.9	2.2	-	2.2	-
	発達障害（自閉症、学習障害など）	100.0 (36)	11.1	36.1	38.9	5.6	2.8	2.8	-	2.8	-
	高次脳機能障害	100.0 (13)	-	-	30.8	30.8	15.4	23.1	-	-	-
	その他	100.0 (75)	1.3	13.3	30.7	22.7	8.0	13.3	6.7	4.0	-
20年度		100.0 (529)	2.6	20.2	33.1	17.6	12.3	6.4	5.1	2.5	0.2

(3) 精神障害の診断名〔複数回答〕一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の程度別

20年度調査よりも「統合失調症」の割合は3.7ポイント減少、「そううつ病・うつ病」の割合は6.8ポイント増加

精神障害の診断名についてみると、「統合失調症」の割合が最も高く43.9%、次いで「そううつ病、うつ病」が39.1%となっている。

年齢階級別にみると、69歳以下のすべての階級で「統合失調症」の割合は4割を超えている。また「そううつ病、うつ病」の割合は40代が45.7%と最も高い。

障害の程度別にみると「そううつ病、うつ病」の割合は、3級が55.5%と高くなっている。

20年度調査と比べると、「統合失調症」の割合は3.7ポイント減少、「そううつ病、うつ病」は6.8ポイント増加した。(表Ⅳ-2-2)

問 もし、よろしければあなたの診断名についてお答えください。

表Ⅳ-2-2 精神障害の診断名〔複数回答〕

一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の程度別

		総数	ア ル コ ホ ール ・ 薬 物 依 存 症	統 合 失 調 症	つ そ 病 う つ 病 、 う	人 格 障 害	て ん かん	障 害 （ 発 達 障 害 、 自 閉 症 、 学 習 障 害 な ど ）	高 次 脳 機 能 障 害	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (537)	3.9	43.9	39.1	2.4	8.4	6.7	2.4	14.0	1.1
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	-	47.6	23.8	-	7.1	26.2	-	9.5	4.8
	30～39歳	100.0 (98)	1.0	45.9	40.8	2.0	11.2	15.3	2.0	9.2	-
	40～49歳	100.0 (151)	5.3	43.0	45.7	3.3	7.3	3.3	4.0	9.3	-
	50～59歳	100.0 (123)	5.7	41.5	36.6	4.1	12.2	3.3	2.4	22.0	0.8
	60～69歳	100.0 (88)	4.5	48.9	39.8	1.1	1.1	1.1	2.3	13.6	2.3
	70歳以上	100.0 (35)	2.9	34.3	31.4	-	11.4	-	-	25.7	2.9
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (67)	4.5	32.8	44.8	-	6.0	-	-	19.4	3.0
障 害 の 程 度 別	1級	100.0 (43)	2.3	60.5	4.7	-	23.3	4.7	2.3	14.0	-
	2級	100.0 (267)	3.7	55.8	30.7	2.6	8.6	5.2	2.6	12.0	0.7
	3級	100.0 (227)	4.4	26.9	55.5	2.6	5.3	8.8	2.2	16.3	1.8
20年度		100.0 (529)	4.3	47.6	32.3	2.8	9.8	...	...	16.1	4.0

(注)発達障害(自閉症、学習障害など)、及び高次脳機能障害は20年度調査では選択肢を設けていなかった。

(4) 精神障害者保健福祉手帳以外の手帳所持の有無〔複数回答〕

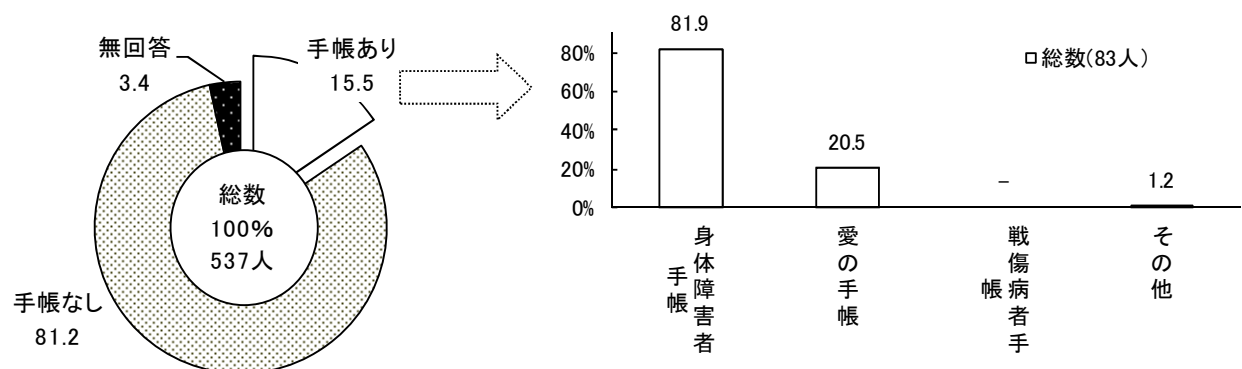
せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょういがい てちょう も わりあい
精神障害者保健福祉手帳以外の手帳を持っている割合は15.5%

精神障害者保健福祉手帳以外の手帳を持っている割合は15.5%（83人）である。

「手帳あり」のうち、8割以上（81.9%）が「身体障害者手帳」所持者となっている。（図IV-2-2）

とい 問 あなたは精神障害者保健福祉手帳以外の手帳をお持ちですか。

図IV-2-2 精神障害者保健福祉手帳以外の手帳所持の有無〔複数回答〕



3 健康・医療

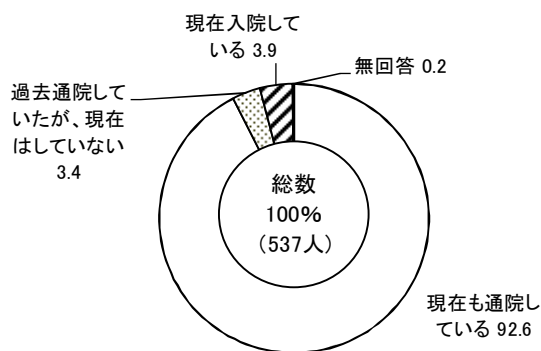
(1) 通院の有無（精神疾患にかかわる病気）

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で「現在も通院している」割合は 92.6%

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）の通院状況は「現在も通院している」割合が 92.6%、「現在入院している」は 3.9%であった。（図Ⅳ-3-1）

問 あなたは、平成25年10月16日（調査基準日）現在、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で通院していますか。

図Ⅳ-3-1 通院の有無（精神疾患にかかわる病気）



(2) 通院に要する時間一年齢階級別

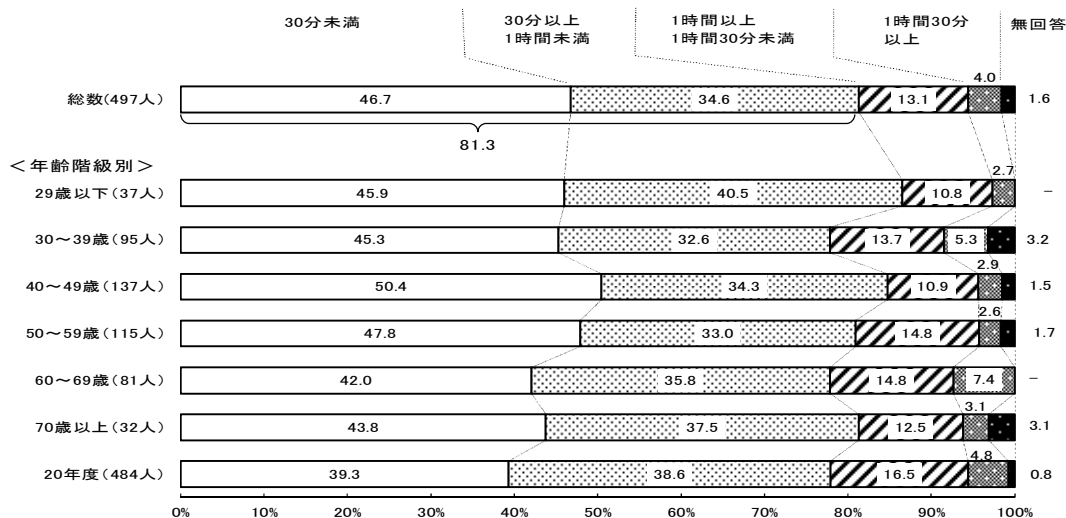
※現在も通院している 497 人の状況

通院に要する片道の時間は 1 時間未満が 8 割以上

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で通院している人の通院に要する片道の時間は「30 分未満」の割合（46.7%）と、「30 分以上 1 時間未満」の割合（34.6%）が高くなっており、これらを合わせた「1 時間未満」の割合は 81.3%となっている。20 年度調査と比べると、「30 分未満」と答えた割合は 7.4 ポイント上昇している。（図Ⅳ-3-2）

問 あなたが通院に要する片道の時間はどれくらいですか。

図Ⅳ-3-2 通院に要する時間一年齢階級別



(3) 通院の際に利用する交通手段〔複数回答〕

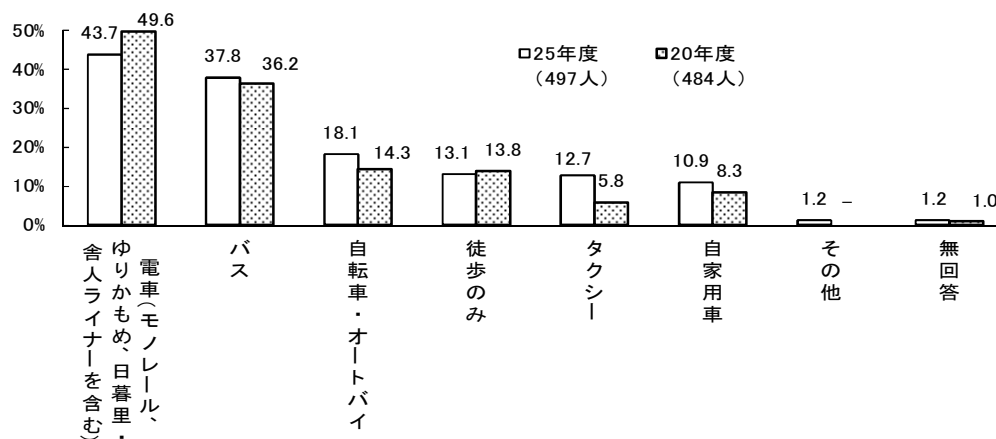
※現在も通院している 497 人の状況

通院の際に利用する交通手段は「電車（モノレール、ゆりかもめ、日暮里・舎人ライナーを含む）」が 43.7%

通院の際に利用する交通手段は「電車（モノレール、ゆりかもめ、日暮里・舎人ライナーを含む）」の割合が、43.7%、次いで「バス」が 37.8%であった。（図Ⅳ-3-3）

問 あなたが通院の際に利用する交通手段は何ですか。

図Ⅳ-3-3 通院の際に利用する交通手段〔複数回答〕



(4) 通院の際に要する交通費

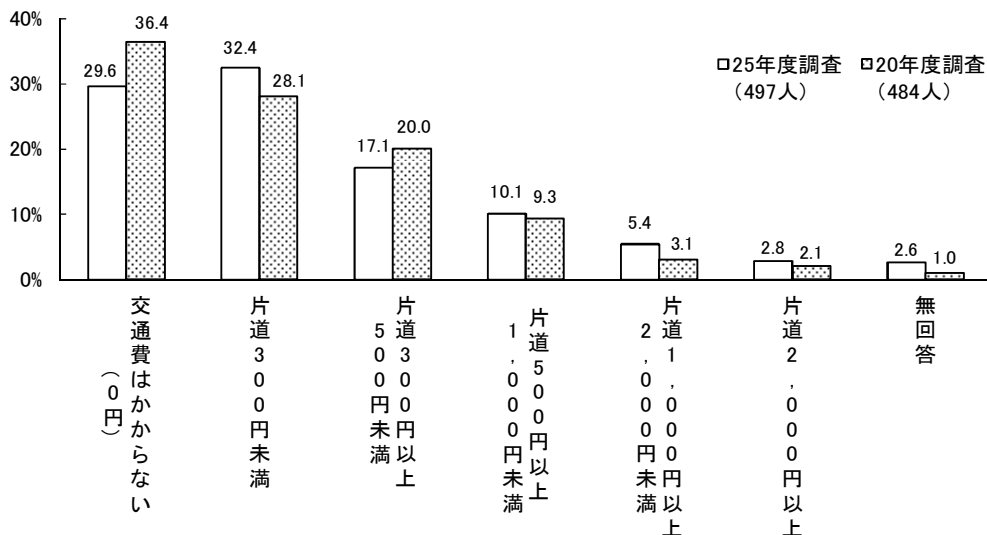
※現在も通院している 497 人の状況

通院の際に要する交通費は「300円未満」の割合が最も高い

通院の際に要する交通費は「300円未満」の割合が最も高く 32.4%であった。20年度調査と比べると、「交通費はかからない」の割合は6.8ポイント減少し 29.6%となっている。（図Ⅳ-3-4）

問 あなたが通院の際に要する交通費はどれくらいですか。

図Ⅳ-3-4 通院の際に要する交通費



(5) 入院経験の有無（精神疾患にかかわる病気）一年齢階級、障害の程度、診断名〔複数回答〕別

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で「現在入院していないが、過去に入院したことがある」割合は 61.6%

入院経験の有無（精神疾患にかかわる病気）の割合は、「現在入院している」が 4.1%、「現在入院していないが、過去に入院したことがある」が 61.6%、「入院したことはない」が 33.5% となっている。

障害の程度別にみると「現在入院している」割合は、1 級が 20.9%と総数の割合（4.1%）よりも高くなっている。また、3 級では「入院したことはない」が 50.2%と半数を超えている。（表Ⅳ-3-1）

問 あなたは、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で、病院、診療所等の医療機関への入院経験がありますか。

表Ⅳ-3-1 入院経験の有無（精神疾患にかかわる病気）

一年齢階級、障害の程度、診断名〔複数回答〕別

		総 数	て 現 い 在 る 入 院 し	こ 去 い 現 と に な 在 が 入 入 あ 院 が る した た 過 て	と 入 は 院 な した い こ	無 回 答
総 数		100.0 (537)	4.1	61.6	33.5	0.7
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	4.8	31.0	64.3	-
	30～39歳	100.0 (98)	2.0	56.1	40.8	1.0
	40～49歳	100.0 (151)	4.6	62.9	32.5	-
	50～59歳	100.0 (123)	3.3	61.0	33.3	2.4
	60～69歳	100.0 (88)	4.5	77.3	18.2	-
	70歳以上	100.0 (35)	8.6	71.4	20.0	-
	（再掲）総数 65歳以上	100.0 (67)	6.0	74.6	19.4	-
障 害 の 程 度 別	1 級	100.0 (43)	20.9	69.8	9.3	-
	2 級	100.0 (267)	4.5	71.2	23.2	1.1
	3 級	100.0 (227)	0.4	48.9	50.2	0.4
診 断 名 〔 複 数 回 答 〕 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	9.5	85.7	-	4.8
	統合失調症	100.0 (236)	5.5	71.2	22.0	1.3
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	1.9	53.8	44.3	-
	人格障害	100.0 (13)	-	69.2	30.8	-
	てんかん	100.0 (45)	2.2	77.8	20.0	-
	発達障害（自閉症、学習障害など）	100.0 (36)	2.8	41.7	55.6	-
	高次脳機能障害	100.0 (13)	-	84.6	15.4	-
	その他	100.0 (75)	4.0	57.3	37.3	1.3

(6) 入院回数－診断名〔複数回答〕別

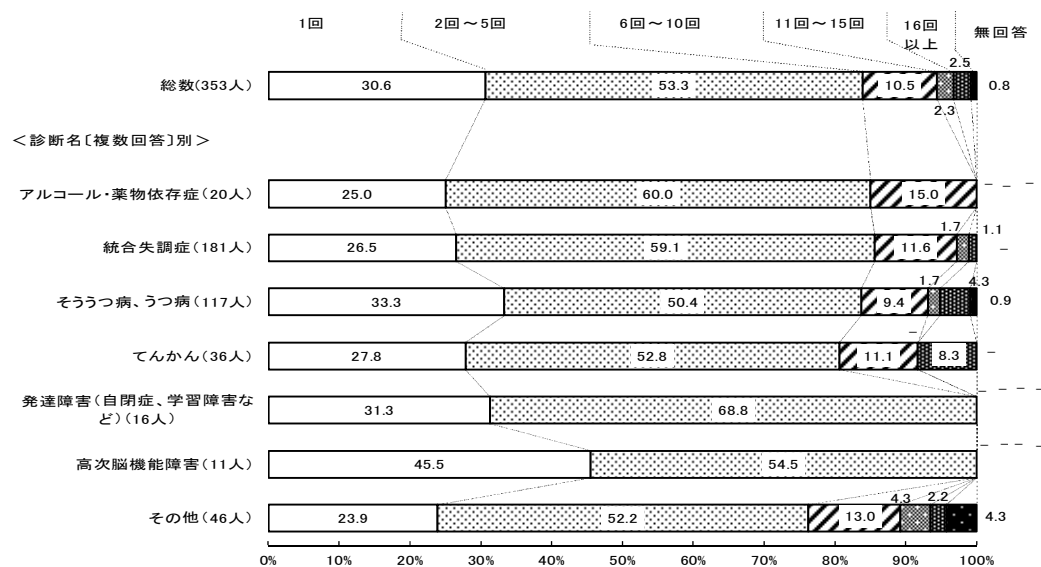
※入院経験がある 353 人が対象

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）での入院回数は、「2～5回」の割合が5割以上

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）での入院回数は、「2～5回」の割合が53.3%と最も高く、次いで「1回」が30.6%となっている。（図IV-3-5）

問 これまで、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で何回入院したことがありますか。

図IV-3-5 入院回数－診断名〔複数回答〕別



(注)「診断名」が「人格障害」については、母集団が少数のため省略した。

(7) 入院期間

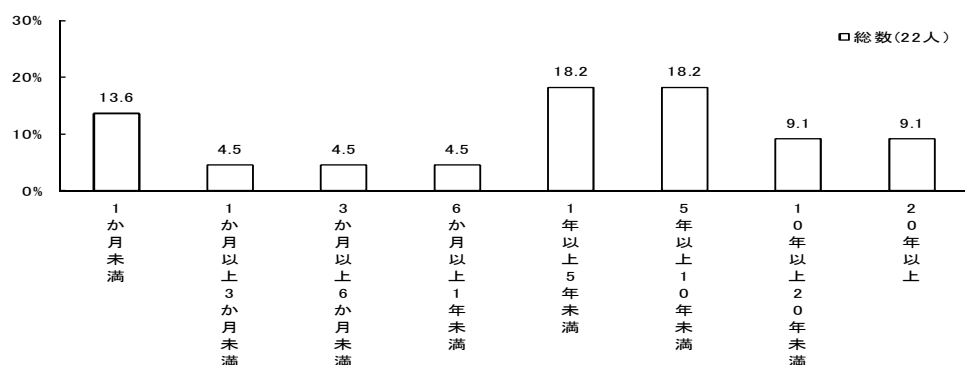
※現在入院をしている 22 人が対象

入院期間は「1年以上5年未満」及び「5年以上10年未満」の割合が最も高い

入院期間は「1年以上5年未満」及び「5年以上10年未満」の割合がともに18.2%と最も高くなっている。（図IV-3-6）

問 平成25年10月16日（調査基準日）現在、入院期間はどれくらいですか。

図IV-3-6 入院期間



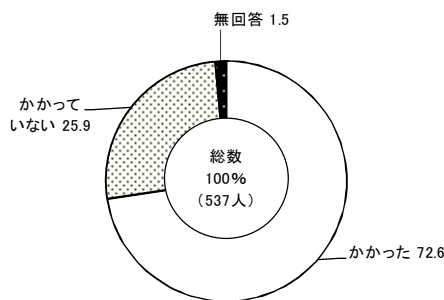
(8) 受診の有無（精神疾患以外の病気、ケガ等）

過去1年間に精神疾患以外の病気やケガなどで医者にかかったことがある割合は 72.6%

過去1年間に精神疾患（てんかんを含む）以外の病気やケガなどで医者にかかったことがあるか聞いたところ「かかった」と答えた割合は 72.6%、「かかっていない」は 25.9%であった。（図Ⅳ-3-7）

問 あなたは過去1年間に精神疾患（てんかんを含む）以外の病気やケガなどで医者にかかったことはありますか。

図Ⅳ-3-7 受診の有無（精神疾患以外の病気、ケガ等）



(9) 過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕一年齢階級別

利用した医療費助成等は「自立支援医療（精神通院医療）」の割合が約8割

医療費助成等の利用の有無の割合は、「利用した」が 81.9%、「利用しなかった」が 15.6%で、利用した医療費助成等は「自立支援医療（精神通院医療）」の割合が 79.9%と最も高い。20年度調査と比べると、「利用した」割合は 5.9 ポイント上昇している。（表Ⅳ-3-2）

問 あなたは過去1年間に医療費助成等を利用しましたか。

表Ⅳ-3-2 過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕一年齢階級別

	総数	利用した	療心 費身 助障 成害 者医	（更 立生 支援 医療）	療（ ～精 神支 通援 院医 療	助難 成病 医療 費等	その他	利用し なかつ た	無 回 答
総数	100.0 (537)	81.9	0.9	1.1	79.9	1.1	1.3	15.6	2.4
29歳以下	100.0 (42)	83.3	2.4	-	81.0	-	4.8	14.3	2.4
30～39歳	100.0 (98)	90.8	-	2.0	89.8	2.0	-	8.2	1.0
40～49歳	100.0 (151)	86.8	0.7	2.0	83.4	1.3	1.3	11.9	1.3
50～59歳	100.0 (123)	79.7	0.8	0.8	78.9	0.8	0.8	15.4	4.9
60～69歳	100.0 (88)	71.6	2.3	-	69.3	-	2.3	25.0	3.4
70歳以上	100.0 (35)	68.6	-	-	65.7	2.9	-	31.4	-
（再掲）総数 65歳以上	100.0 (67)	62.7	1.5	-	59.7	1.5	1.5	35.8	1.5
20年度	100.0 (529)	76.0	1.3	0.8	72.2	0.6	1.5	21.4	2.6

(10) 自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額

一年齢階級、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

※自立支援医療（精神通院医療）を利用した 429 人が対象

自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額は、「0円」の割合が 52.9%

1 か月の自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額は、「0 円」の割合が 52.9%と最も高い。現在一緒に生活している人別にみると、「0 円」の割合は「一人で暮らしている」（71.3%）と「その他」（72.7%）で高くなっている。また、「10,001 円以上」の割合は 60 歳以上で 4.8%となっており、総数（1.4%）よりも高くなっている。（表Ⅳ-3-3）

問 1 か月の自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額は、平均でどれくらいですか。

表Ⅳ-3-3 自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額

一年齢階級、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		総 数	0 円	1 円 以下	2 円 以下	5 円 以下	10 円 以下	15 円 以下	1 万円 以上	わ か ら な い	無 回 答
総数		100.0 (429)	52.9	19.8	15.2	3.3	1.4	5.4	2.1		
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	47.1	17.6	26.5	2.9	2.9	2.9	-		
	30～39歳	100.0 (88)	40.9	26.1	21.6	5.7	1.1	3.4	1.1		
	40～49歳	100.0 (126)	57.1	19.8	15.1	3.2	-	4.0	0.8		
	50～59歳	100.0 (97)	58.8	16.5	9.3	2.1	-	10.3	3.1		
	60歳以上	100.0 (84)	54.8	17.9	10.7	2.4	4.8	4.8	4.8		
	（再掲）総数 65歳以上	100.0 (40)	55.0	15.0	17.5	2.5	5.0	-	5.0		
現 在 一 緒 に 生 活 し て い る 人 〔 複 数 回 答 〕 別	親	100.0 (145)	42.8	24.8	22.1	4.8	1.4	4.1	-		
	配偶者	100.0 (85)	31.8	34.1	20.0	5.9	1.2	3.5	3.5		
	子供	100.0 (68)	44.1	25.0	22.1	4.4	-	4.4	-		
	兄弟姉妹	100.0 (40)	20.0	32.5	32.5	7.5	-	7.5	-		
	一人で暮らしている	100.0 (150)	71.3	10.0	6.0	2.0	1.3	6.7	2.7		
	その他	100.0 (11)	72.7	9.1	18.2	-	-	-	-		

（注）「現在一緒に生活している人」が「その他の親族」については、母集団が少数のため省略した。

4 日常生活の状況

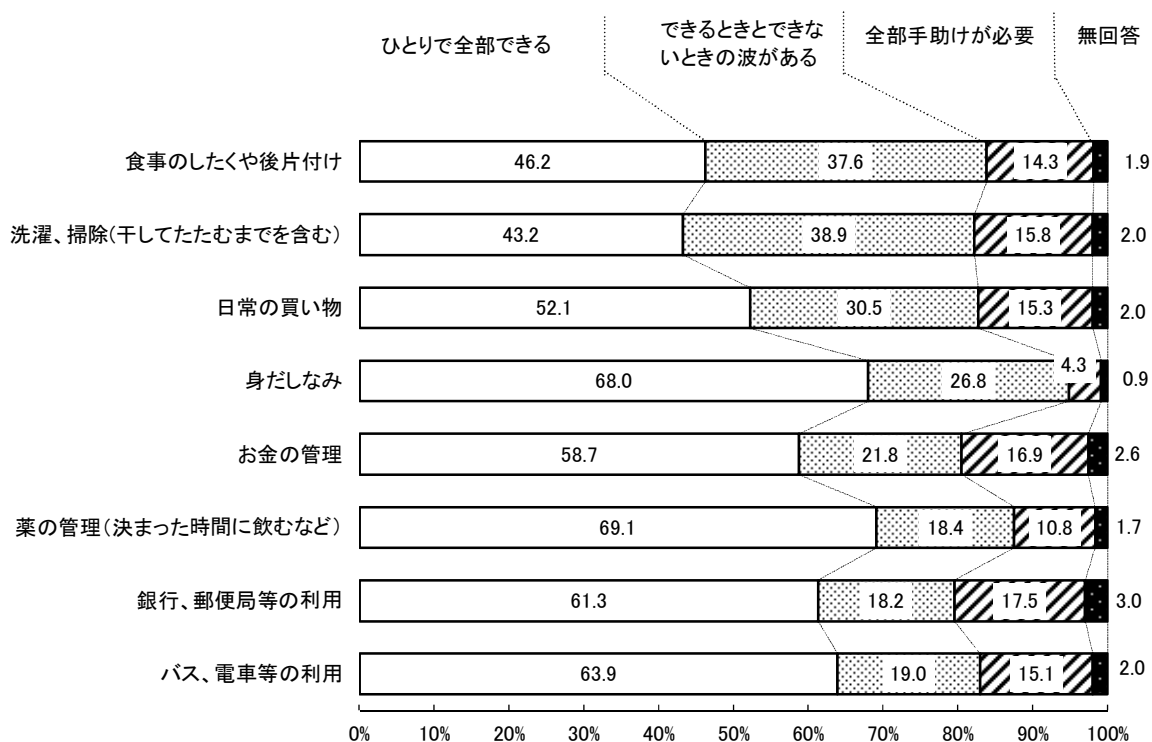
(1) 日常生活動作能力

「全部手助けが必要」と答えた割合が最も高いのは「銀行、郵便局の利用」で17.5%、次いで「お金の管理」が16.9%

8項目の日常生活動作能力のうち、「ひとりで全部できる」と答えた割合が最も高いのは、薬の管理（決まった時間に飲むなど）で69.1%、「できるときとできないときの波がある」の割合が最も高いのは洗濯、掃除（干してたたむまでを含む）で38.9%であった。一方、「全部手助けが必要」と答えた割合が最も高いのは、銀行、郵便局等の利用で17.5%、次いでお金の管理が16.9%となっている。（図IV-4-1）

問 あなたは次の動作について、自分一人ですべてできますか。

図IV-4-1 日常生活動作能力



(注)総数は8項目とも537人である。

(2) 日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む)

c 日常の買い物) 一年齢階級、障害の程度、診断名〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) について年齢階級別にみると、「できるときとできないときの波がある」の割合は、30代が最も高くなっている。障害の程度別にみると、3級では「c 日常の買い物」が「ひとりで全部できる」割合が62.1%と6割を超えている。診断名別にみると、そううつ病、うつ病では「b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む)」で「できるときとできないときの波がある」と答えた割合が51.0%と高くなっている。(表IV-4-1)

表IV-4-1 日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) 一年齢階級、障害の程度、診断名〔複数回答〕別

		a 食事のしたくや後片付け					b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む)					c 日常の買い物				
		総数	できるときと全部	の波があるときと	できるときと	必要全部手助けが	総数	できるときと全部	の波があるときと	できるときと	必要全部手助けが	総数	できるときと全部	の波があるときと	できるときと	必要全部手助けが
						無回答					無回答					無回答
総数		100.0 (537)	46.2	37.6	14.3	1.9	100.0 (537)	43.2	38.9	15.8	2.0	100.0 (537)	52.1	30.5	15.3	2.0
年齢階級別	29歳以下	100.0 (42)	54.8	31.0	14.3	-	100.0 (42)	47.6	40.5	11.9	-	100.0 (42)	61.9	26.2	11.9	-
	30～39歳	100.0 (98)	33.7	<u>50.0</u>	16.3	-	100.0 (98)	37.8	<u>46.9</u>	15.3	-	100.0 (98)	43.9	<u>40.8</u>	15.3	-
	40～49歳	100.0 (151)	47.0	43.0	6.6	3.3	100.0 (151)	43.7	40.4	13.2	2.6	100.0 (151)	55.6	31.1	9.9	3.3
	50～59歳	100.0 (123)	44.7	37.4	16.3	1.6	100.0 (123)	40.7	41.5	15.4	2.4	100.0 (123)	48.0	33.3	16.3	2.4
	60～69歳	100.0 (88)	55.7	25.0	15.9	3.4	100.0 (88)	51.1	28.4	15.9	4.5	100.0 (88)	59.1	23.9	13.6	3.4
	70歳以上	100.0 (35)	48.6	20.0	31.4	-	100.0 (35)	40.0	25.7	34.3	-	100.0 (35)	45.7	11.4	42.9	-
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (67)	47.8	22.4	28.4	1.5	100.0 (67)	41.8	25.4	31.3	1.5	100.0 (67)	46.3	20.9	31.3	1.5
障害の程度別	1級	100.0 (43)	25.6	30.2	39.5	4.7	100.0 (43)	25.6	16.3	53.5	4.7	100.0 (43)	27.9	16.3	51.2	4.7
	2級	100.0 (267)	44.2	38.6	15.7	1.5	100.0 (267)	41.6	40.1	16.5	1.9	100.0 (267)	47.6	35.6	14.6	2.2
	3級	100.0 (227)	52.4	37.9	7.9	1.8	100.0 (227)	48.5	41.9	7.9	1.8	100.0 (227)	<u>62.1</u>	27.3	9.3	1.3
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	57.1	28.6	9.5	4.8	100.0 (21)	52.4	23.8	19.0	4.8	100.0 (21)	52.4	28.6	14.3	4.8
	統合失調症	100.0 (236)	46.6	33.1	16.9	3.4	100.0 (236)	43.6	35.2	17.8	3.4	100.0 (236)	55.9	22.9	17.4	3.8
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	42.9	46.7	10.0	0.5	100.0 (210)	37.1	<u>51.0</u>	11.9	-	100.0 (210)	46.2	41.0	12.9	-
	人格障害	100.0 (13)	30.8	61.5	7.7	-	100.0 (13)	53.8	46.2	-	-	100.0 (13)	38.5	46.2	15.4	-
	てんかん	100.0 (45)	48.9	37.8	13.3	-	100.0 (45)	46.7	33.3	17.8	2.2	100.0 (45)	51.1	33.3	13.3	2.2
	発達障害(自閉症、学習障害など)	100.0 (36)	41.7	38.9	19.4	-	100.0 (36)	36.1	44.4	19.4	-	100.0 (36)	52.8	27.8	19.4	-
	高次脳機能障害	100.0 (13)	38.5	46.2	15.4	-	100.0 (13)	30.8	46.2	23.1	-	100.0 (13)	46.2	38.5	15.4	-

(3) 日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど))

一年齢階級、障害の程度、診断名〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど)) について年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「d 身だしなみ」を「ひとりで全部できる」の割合は6割以上となっている。

障害の程度別にみると「e お金の管理」が「全部手助けが必要」の割合は1級で51.2%と5割を超えている。

診断名別にみると、「f 薬の管理」が「全部手助けが必要」と答えた割合は、統合失調症で14.4%となっている。(表IV-4-2)

表IV-4-2 日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理

(決まった時間に飲むなど) 一年齢階級、障害の程度、診断名〔複数回答〕別

		d身だしなみ					e お金の管理					f 薬の管理(決まった時間に飲むなど)					
		総 数	で ひ と り で 全 部	の 波 が あ い と き	で き な い と き	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	総 数	で ひ と り で 全 部	の 波 が あ い と き	で き な い と き	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	総 数	で ひ と り で 全 部	の 波 が あ い と き	で き な い と き
総数		100.0 (537)	68.0	26.8	4.3	0.9	100.0 (537)	58.7	21.8	16.9	2.6	100.0 (537)	69.1	18.4	10.8	1.7	
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	<u>69.0</u>	23.8	7.1	-	100.0 (42)	57.1	21.4	19.0	2.4	100.0 (42)	57.1	26.2	16.7	-	
	30～39歳	100.0 (98)	<u>63.3</u>	34.7	2.0	-	100.0 (98)	61.2	24.5	14.3	-	100.0 (98)	68.4	24.5	6.1	1.0	
	40～49歳	100.0 (151)	<u>62.9</u>	33.8	2.6	0.7	100.0 (151)	53.6	27.2	16.6	2.6	100.0 (151)	67.5	22.5	7.9	2.0	
	50～59歳	100.0 (123)	<u>67.5</u>	24.4	5.7	2.4	100.0 (123)	57.7	21.1	17.1	4.1	100.0 (123)	74.0	12.2	11.4	2.4	
	60～69歳	100.0 (88)	<u>81.8</u>	14.8	2.3	1.1	100.0 (88)	69.3	14.8	12.5	3.4	100.0 (88)	75.0	10.2	12.5	2.3	
	70歳以上	100.0 (35)	<u>68.6</u>	17.1	14.3	-	100.0 (35)	51.4	11.4	34.3	2.9	100.0 (35)	60.0	17.1	22.9	-	
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (67)	77.6	11.9	10.4	-	100.0 (67)	62.7	10.4	25.4	1.5	100.0 (67)	67.2	13.4	19.4	-	
障 害 の 程 度 別	1級	100.0 (43)	32.6	34.9	27.9	4.7	100.0 (43)	37.2	7.0	<u>51.2</u>	4.7	100.0 (43)	32.6	23.3	39.5	4.7	
	2級	100.0 (267)	67.0	29.6	2.6	0.7	100.0 (267)	55.8	23.6	17.6	3.0	100.0 (267)	67.4	19.9	10.9	1.9	
	3級	100.0 (227)	75.8	22.0	1.8	0.4	100.0 (227)	66.1	22.5	9.7	1.8	100.0 (227)	78.0	15.9	5.3	0.9	
診 断 名 (複 数 回 答) 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	66.7	28.6	-	4.8	100.0 (21)	61.9	9.5	23.8	4.8	100.0 (21)	61.9	23.8	9.5	4.8	
	統合失調症	100.0 (236)	64.8	27.5	5.9	1.7	100.0 (236)	58.9	17.8	19.1	4.2	100.0 (236)	66.5	16.5	<u>14.4</u>	2.5	
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	66.7	31.9	1.4	-	100.0 (210)	57.1	27.6	14.8	0.5	100.0 (210)	70.5	22.4	7.1	-	
	人格障害	100.0 (13)	46.2	53.8	-	-	100.0 (13)	53.8	30.8	15.4	-	100.0 (13)	76.9	15.4	7.7	-	
	てんかん	100.0 (45)	62.2	31.1	4.4	2.2	100.0 (45)	57.8	24.4	17.8	-	100.0 (45)	68.9	17.8	13.3	-	
	発達障害(自閉症、学習障害など)	100.0 (36)	66.7	33.3	-	-	100.0 (36)	58.3	22.2	19.4	-	100.0 (36)	66.7	27.8	5.6	-	
	高次脳機能障害	100.0 (13)	69.2	30.8	-	-	100.0 (13)	46.2	46.2	7.7	-	100.0 (13)	69.2	15.4	7.7	7.7	

(4) 日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用)

一年齢階級、障害の程度、診断名〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用) について年齢階級別にみると、「g 銀行、郵便局の利用」が「全部手助けが必要」の割合は70歳以上で40.0%と、他の年齢階級よりも高くなっている。

障害の程度別にみると3級で「g 銀行、郵便局等の利用」「h バス、電車等の利用」が「ひとりで全部できる」の割合は7割を超えている。(表IV-4-3)

表IV-4-3 日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用)

一年齢階級、障害の程度、診断名〔複数回答〕別

		g 銀行、郵便局等の利用						h バス、電車等の利用					
		総 数	で ひ と り で 全 部	の 波 が あ る と き と	で き る と き と	必 全 要 部 手 助 け が	無 回 答	総 数	で ひ と り で 全 部	の 波 が あ る と き と	で き る と き と	必 全 要 部 手 助 け が	無 回 答
総数		100.0 (537)	61.3	18.2	17.5	3.0		100.0 (537)	63.9	19.0	15.1	2.0	
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	57.1	23.8	19.0	-		100.0 (42)	66.7	23.8	9.5	-	
	30～39歳	100.0 (98)	62.2	24.5	13.3	-		100.0 (98)	69.4	24.5	6.1	-	
	40～49歳	100.0 (151)	64.2	18.5	13.9	3.3		100.0 (151)	66.2	19.9	11.3	2.6	
	50～59歳	100.0 (123)	61.0	14.6	20.3	4.1		100.0 (123)	61.8	18.7	17.1	2.4	
	60～69歳	100.0 (88)	64.8	14.8	14.8	5.7		100.0 (88)	65.9	11.4	19.3	3.4	
	70歳以上	100.0 (35)	42.9	14.3	<u>40.0</u>	2.9		100.0 (35)	37.1	14.3	45.7	2.9	
	(再掲) 総数 65歳以上	100.0 (67)	50.7	17.9	29.9	1.5		100.0 (67)	46.3	13.4	38.8	1.5	
障 害 の 程 度 別	1級	100.0 (43)	25.6	7.0	60.5	7.0		100.0 (43)	30.2	18.6	44.2	7.0	
	2級	100.0 (267)	56.9	19.9	19.1	4.1		100.0 (267)	63.3	18.4	16.1	2.2	
	3級	100.0 (227)	<u>73.1</u>	18.5	7.5	0.9		100.0 (227)	<u>70.9</u>	19.8	8.4	0.9	
診 断 名 〔 複 数 回 答 〕 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	61.9	14.3	19.0	4.8		100.0 (21)	47.6	33.3	14.3	4.8	
	統合失調症	100.0 (236)	60.2	15.7	20.8	3.4		100.0 (236)	64.0	15.7	17.4	3.0	
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	66.7	21.9	11.4	-		100.0 (210)	65.7	22.4	11.9	-	
	人格障害	100.0 (13)	53.8	38.5	-	7.7		100.0 (13)	53.8	30.8	15.4	-	
	てんかん	100.0 (45)	57.8	20.0	20.0	2.2		100.0 (45)	55.6	31.1	13.3	-	
	発達障害(自閉症、学習障害など)	100.0 (36)	63.9	19.4	16.7	-		100.0 (36)	75.0	22.2	2.8	-	
	高次脳機能障害	100.0 (13)	69.2	15.4	15.4	-		100.0 (13)	69.2	30.8	-	-	

(5) 過去1年間で困ったこと〔複数回答〕一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

過去1年間で困ったことは「夜間や休日に具合が悪くなって困った」割合が最も高い

過去1年間で何か「困ったことがある」と答えた割合は65.5%、「特に困ったことはない」割合は32.2%で、困った内容は、「夜間や休日に具合が悪くなって困った」の割合が最も高く32.4%であった。

年齢階級別にみると、「困ったことがある」と答えた割合は年齢が上がるにつれて低くなっている。(表IV-4-4)

問 あなたは、過去1年間で何か困ったことはありますか。

表IV-4-4 過去1年間で困ったこと〔複数回答〕一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

		総 数	困 つ た こ と が あ る	く 夜 間 や 休 日 に 具 合 が 悪 く な っ て 困 っ た	た 夜 間 や 休 日 に 相 談 で き な く な っ た	け を し て く の 生 活 の 人 が 手 助 け を し て く の 生 活 の
--	--	--------	--------------------------------------	--	--	--

5 就労の状況

(1) 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）一年齢階級別

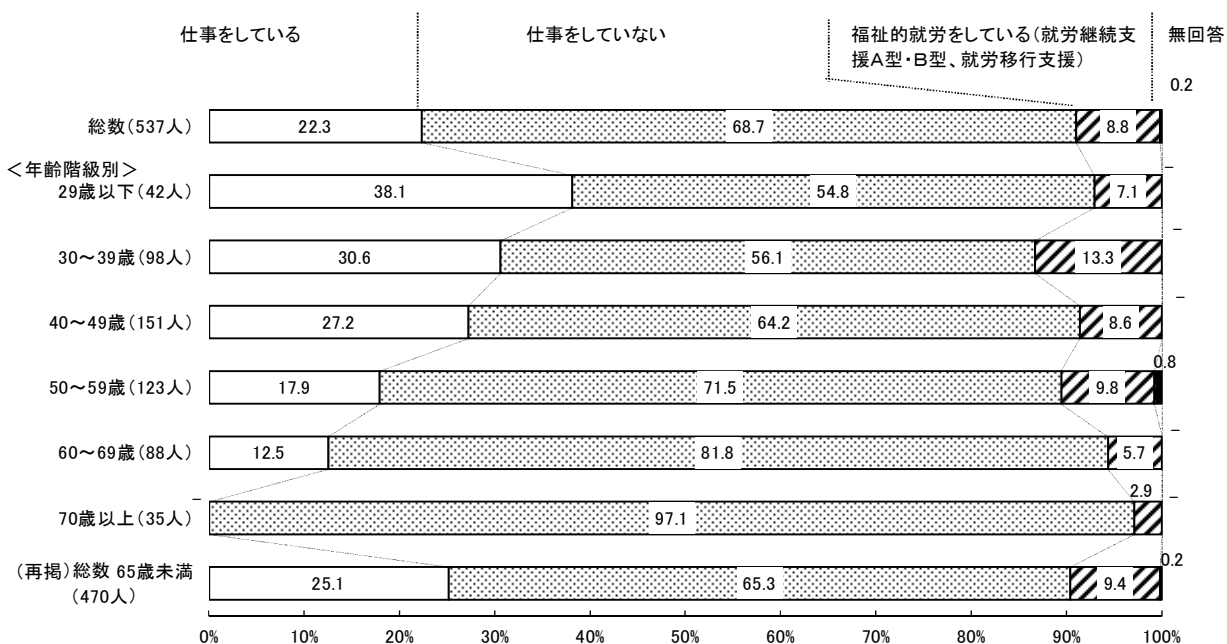
「仕事をしている」人の割合は、65歳未満で25.1%

調査基準日現在、収入を伴う仕事をしているか聞いたところ、「仕事をしている」割合は22.3%、「仕事をしていない」が68.7%、「福祉的就労をしている」は8.8%であった。

年齢階級別にみると、65歳未満で「仕事をしている」人の割合は25.1%となっている。（図IV-5-1）

問 あなたは平成25年10月16日（調査基準日）現在、収入を伴う仕事をしていますか。

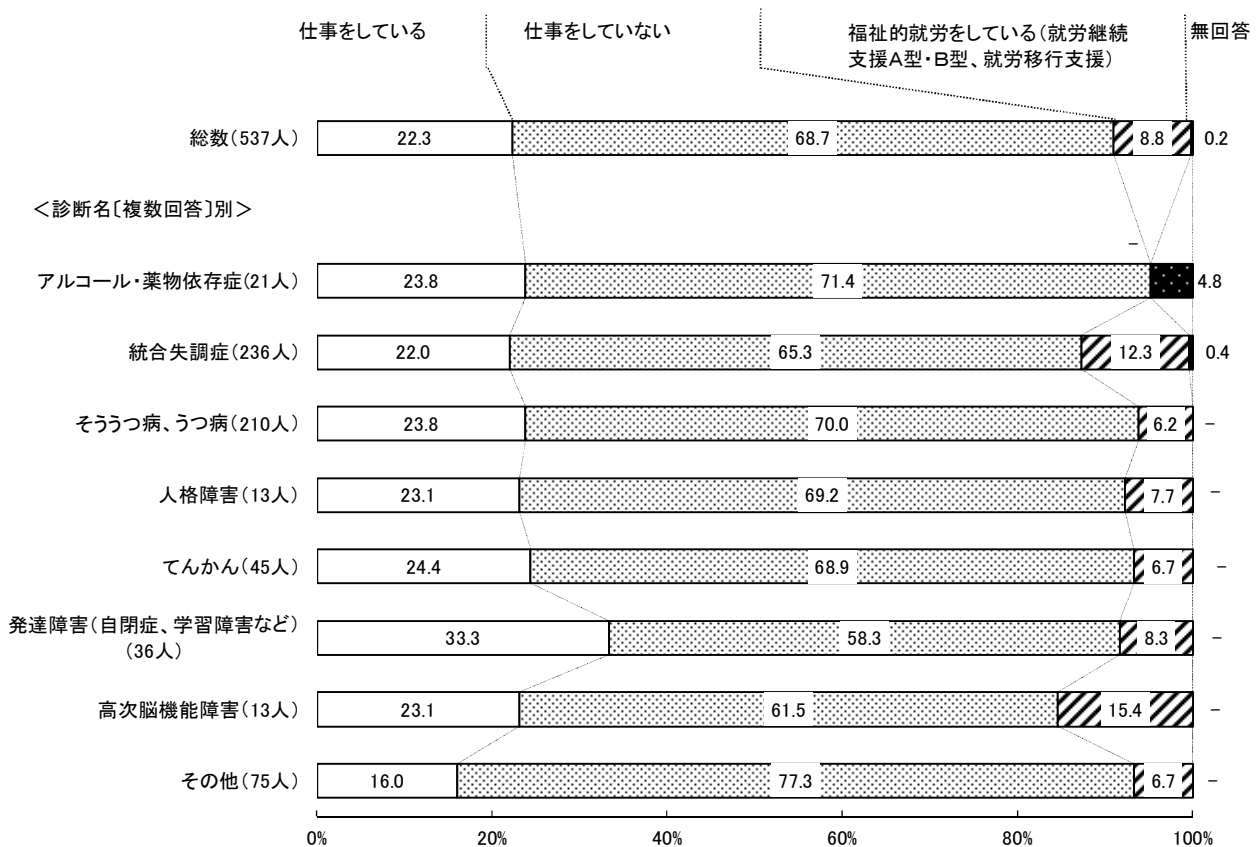
図IV-5-1 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）一年齢階級別



（２）収入を伴う仕事の有無－診断名〔複数回答〕別

収入を伴う仕事の有無を診断名別にみると、「仕事をしている」と答えた割合は「発達障害（自閉症、学習障害など）」で 33.3% と高くなっている。「統合失調症」と「高次脳機能障害」では、「福祉的就労をしている（就労継続支援 A 型・B 型、就労移行支援）」の割合が 1 割を超えている。（図Ⅳ-5-2）

図Ⅳ-5-2 収入を伴う仕事の有無－診断名〔複数回答〕別



(3) 仕事の種類〔複数回答〕一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の程度別

※仕事をしている 120 人が対象

「ひ せ い き し ゅ く い ん じ ゅ う ぎ ゃ う い ん非正規の職員・従業員」の割合が最も高く 72.5%、「せ い き し ゅ く い ん じ ゅ う ぎ ゃ う い ん正規の職員・従業員」の割合は 14.2%

仕事の種類を聞いたところ、「正規の職員・従業員」の割合が 14.2%、「非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・日雇等(契約職員・派遣職員を含む))」が 72.5%であった。

年齢階級別にみると、40 代の「正規の職員・従業員」の割合が 26.8%となっており、総数(14.2%)より 10 ポイント以上高くなっている。(表IV-5-1)

問 仕事の種類は何ですか。

表IV-5-1 仕事の種類〔複数回答〕一年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の程度別

		総 数	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	会 社 等 の 役 員	職 員 ・ ア ル バ イ ト ・ 日 雇 等 (契 約 職 員 ・ 派 遣 職 員 を 含 む)	自 営 業	家 業 の 手 伝 い	内 職	そ の 他
総数		100.0 (120)	14.2	0.8	72.5	5.0	2.5	3.3	3.3
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (16)	12.5	-	87.5	-	-	-	-
	30～39歳	100.0 (30)	6.7	-	76.7	3.3	3.3	6.7	3.3
	40～49歳	100.0 (41)	26.8	2.4	63.4	2.4	2.4	-	4.9
	50～59歳	100.0 (22)	9.1	-	77.3	9.1	4.5	4.5	-
	60歳以上	100.0 (11)	-	-	63.6	18.2	-	9.1	9.1
程 度 害 別	2級	100.0 (47)	4.3	-	83.0	4.3	2.1	6.4	2.1
	3級	100.0 (69)	21.7	1.4	65.2	5.8	2.9	1.4	2.9

(注) 障害の程度が 1 級は、母集団が少数であるため省略した。

(4) 1週間の就労日数－仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別

※仕事をしている120人が対象

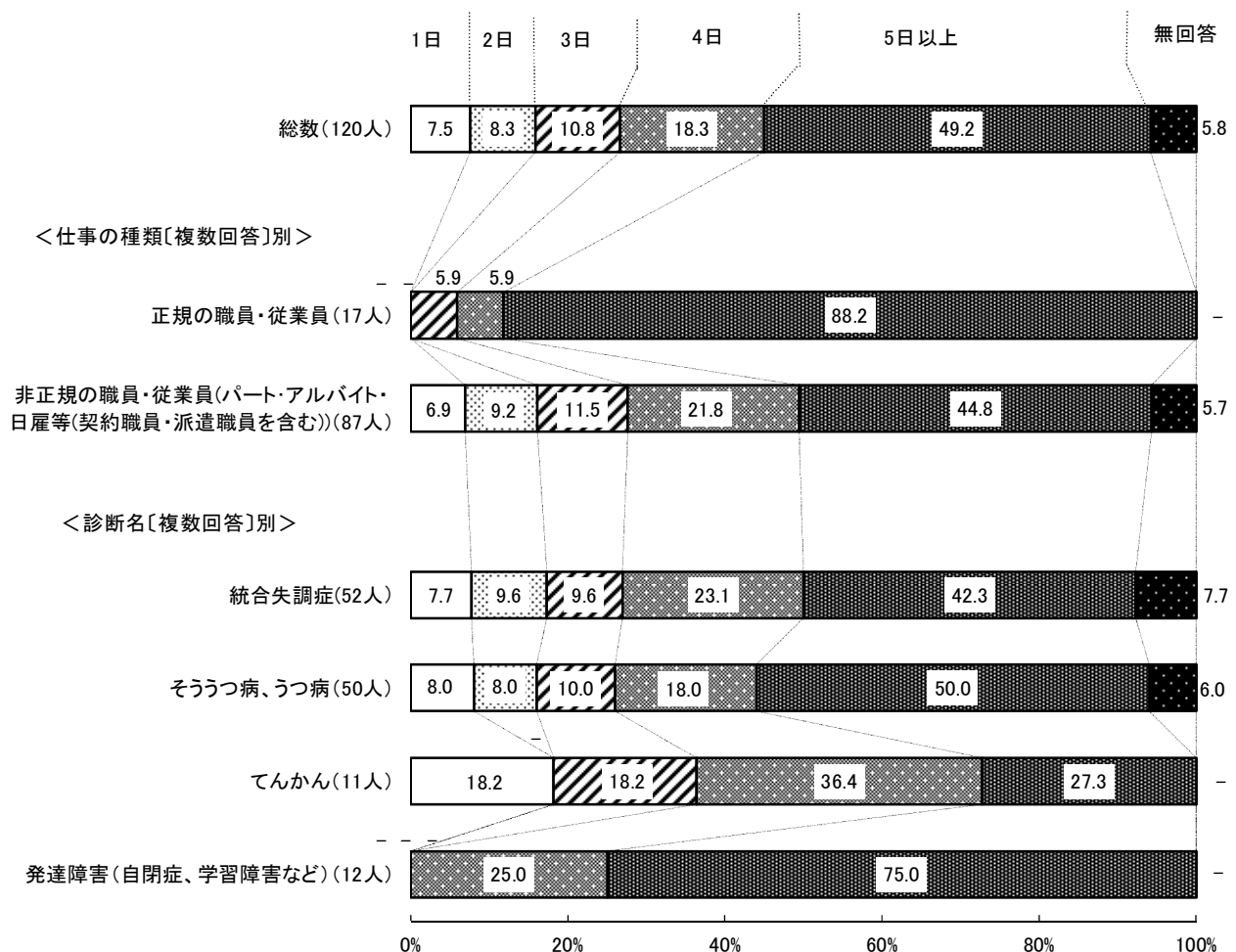
1週間の就労日数は「5日以上」が49.2%

1週間の就労日数を聞いたところ、「5日以上」が49.2%と約半数であった。

仕事の種類別にみると、正規の職員・従業員では「5日以上」の割合が88.2%となっている。(図IV-5-3)

問 1週間の就労日数はどのくらいですか。

図IV-5-3 1週間の就労日数－仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別



(注1) 仕事の種類が「会社等の役員」「自営業」「家業の手伝い」「内職」については、母集団が少数のため省略した。

(注2) 診断名が「アルコール・薬物依存症」「人格障害」「高次脳機能障害」については、母集団が少数のため省略した。

(5) 1週間の労働時間－仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別

※仕事をしている120人が対象

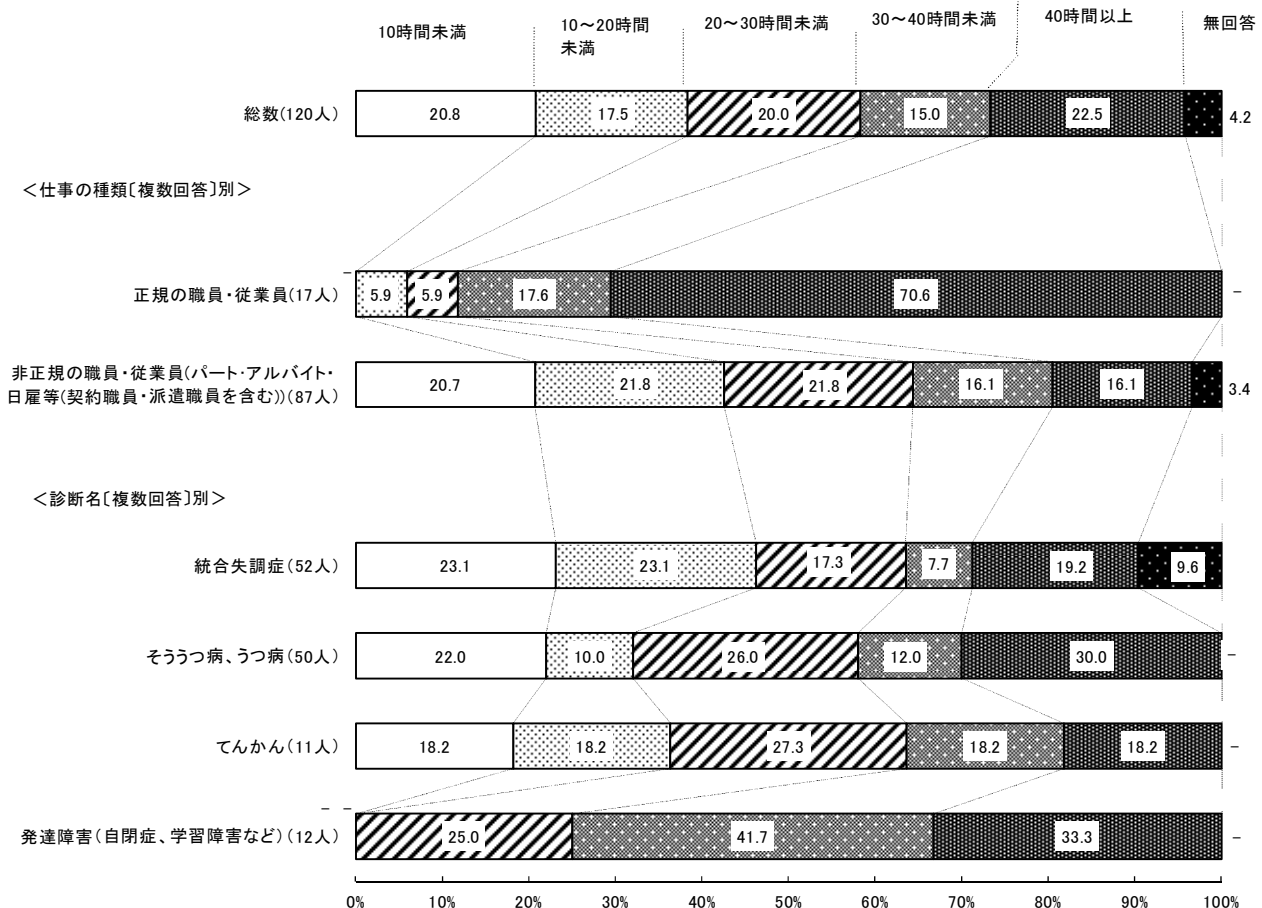
1週間に20時間以上労働している人の割合は57.5%

1週間の労働時間をみると、「40時間以上」が最も高く22.5%となっている。

仕事の種類別にみると、正規の職員・従業員では40時間以上の割合が70.6%なのに対し、非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・日雇等(契約職員・派遣職員を含む))では16.1%となっている。(図IV-5-4)

1週間の労働時間はどのくらいですか。

図IV-5-4 1週間の労働時間－仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別



(注1) 仕事の種類が「会社等の役員」「自営業」「家業の手伝い」「内職」については、母集団が少数のため省略した。

(注2) 診断名が「アルコール・薬物依存症」「人格障害」「高次脳機能障害」については、母集団が少数のため省略した。

(6) 就職した時期－性別

※仕事をしている人のうち、仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非常勤の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））の104人が対象

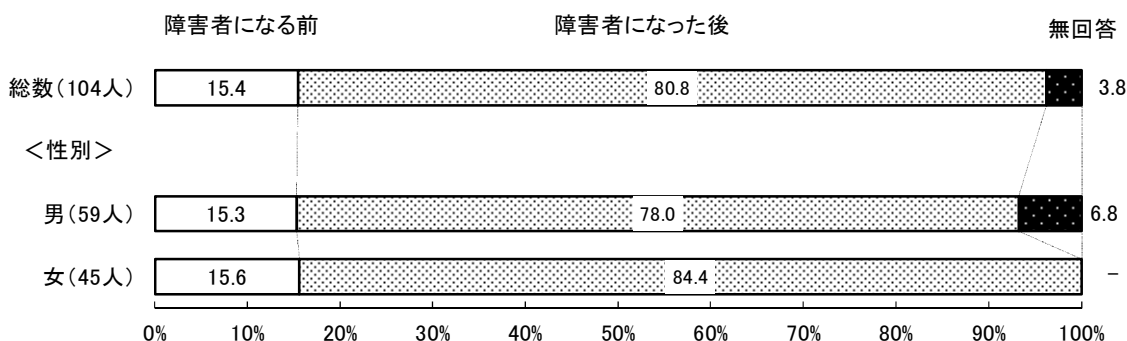
現在の就職先に就職した時期は「障害者になった後」が80.8%

現在の就職先に就職した時期は障害者になる前か、それともなった後か聞いたところ、「障害者になる前」が15.4%、「障害者になった後」が80.8%であった。

性別でみると、女性では84.4%が「障害者になった後」と回答した。（図IV-5-5）

問 現在の就職先に就職したのは障害者になる前ですか、それともなった後ですか。

図IV-5-5 就職した時期－性別



(7) 就職をするために支援を受けたところ（人）〔複数回答〕－性別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非常勤の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））のうち、障害者になった後に現在の就職先に就職した84人が対象

就職をするために支援を受けたところは、「ハローワーク」の割合が最も高く34.5%

就職をするために支援を受けたところ（人）は、「ハローワーク」の割合が34.5%と最も高く、次いで「区市町村障害者就労者支援センター、障害者就業・生活支援センター」の17.9%となっている。性別でみると、男性では「ハローワーク」の割合が45.7%と高いが、女性では「支援は受けなかった」の割合が36.8%と高くなっている。（表IV-5-2）

問 どこ（誰）の支援を受けて現在の仕事に就きましたか。

表IV-5-2 就職をするために支援を受けたところ（人）〔複数回答〕－性別

	総数	ハローワーク	障害者就業・生活支援センター	区市町村障害者就労者支援センター	学校	家族	知人	就労移行支援事業所等	福祉団体	その他	支援は受けなかった	無回答
総数	100.0 (84)	34.5	17.9	3.6	8.3	13.1	11.9	2.4	11.9	26.2	1.2	
男	100.0 (46)	45.7	21.7	6.5	8.7	13.0	15.2	2.2	13.0	17.4	-	
女	100.0 (38)	21.1	13.2	-	7.9	13.2	7.9	2.6	10.5	36.8	2.6	

(8) 現在の仕事に就いてからの期間－性別

※仕事をしている人のうち、仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非常勤の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））の104人が対象

現在の仕事に就いてからの期間は「1年以上3年未満」が26.9%

現在の仕事に就いてからの期間を聞いたところ、「1年以上3年未満」の割合が最も高く26.9%、次いで「3か月以上6か月未満」、「5年以上10年未満」の13.5%と続く。

性別にみると、男性、女性とも「1年以上3年未満」が最も高くなっている。（表Ⅳ-5-3）

問 現在の仕事に就いてからの期間はどれくらいですか。

表Ⅳ-5-3 現在の仕事に就いてからの期間－性別

	総 数	3 か 月 未 満	3 か 月 以 上 6 か 月 未 満	6 か 月 以 上 1 年 未 満	1 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上
総数	100.0 (104)	10.6	13.5	10.6	26.9	10.6	13.5	8.7
男	100.0 (59)	10.2	8.5	6.8	28.8	11.9	10.2	13.6
女	100.0 (45)	11.1	20.0	15.6	24.4	8.9	17.8	2.2

(9) 仕事をしていく上で困ること〔複数回答〕－性別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である 104 人が対象

仕事をしていく上で困ることは、男女ともに「人間関係（職場内でのいじめなど）」の割合が高い（男 30.5%、女 37.8%）

仕事をしていく上で「困ることがある」と答えた割合は 71.2%、「困ることは特にない」は 25.0%であった。性別でみると、男女ともに「人間関係（職場内でのいじめなど）」の割合が高く、男性 30.5%、女性 37.8%となった。（表Ⅳ-5-4）

問 仕事をしていく上で困ることは何ですか。

表Ⅳ-5-4 仕事をしていく上で困ること〔複数回答〕－性別

	総 数	困 る こ と が あ る	仕 事 の 内 容	人 間 関 係 （ 職 場 内 で の い じ め な ど ）	ら な い たい 内 容 が 伝 わ る	相 手 に 対 し て 、 言 う こ と が 分 か ら な い	相 手 の 言 っ て い る こ と が 不 十 分	化 が 不 十 分	職 場 の （ 物 理 的 な バ リ ア ー ）	勤 務 時 間 ・ 日 数	通 勤 距 離 ・ 時 間	通 勤 時 の 混 雑	定 期 的 な 通 院 や 健 康 管 理 と の 両 立	急 な 体 調 の 変 化 へ の 配 慮 が な い	そ の 他	困 る こ と は 特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (104)	71.2	22.1	33.7	14.4	7.7	1.0	16.3	5.8	5.8	17.3	20.2	5.8	25.0	3.8		
男	100.0 (59)	66.1	23.7	30.5	13.6	10.2	1.7	6.8	3.4	3.4	13.6	16.9	5.1	27.1	6.8		
女	100.0 (45)	77.8	20.0	37.8	15.6	4.4	-	28.9	8.9	8.9	22.2	24.4	6.7	22.2	-		

(10) 仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕－性別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である 104 人が対象

仕事で困ったときの相談先は「会社の上司」の割合が最も高い

仕事で困ったときの相談先を聞いたところ、「会社の上司」の割合が最も高く 45.2%、次いで「家族」の割合が 40.4%となっている。（表Ⅳ-5-5）

問 仕事で困ったことがあったとき、誰に相談しますか。

表Ⅳ-5-5 仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕－性別

	総 数	会 社 の 上 司	会 社 の 同 僚	職 場 に 派 遣 さ れ た ジ ョ ブ コ ー チ	就 業 支 援 セ ン タ ー 等 の 職 員	家 族	会 社 の 同 僚 以 外 の 友 人	世 話 人 等	施 設 の 職 員 、 グ ル ー プ ホ ー ム の	出 身 校 の 教 員	そ の 他	相 談 す る 相 手 は い な い	今 ま で 特 に 困 っ た こ と は な い	無 回 答
総数	100.0 (104)	45.2	31.7	1.9	12.5	40.4	16.3	6.7	1.0	17.3	11.5	3.8	3.8	
男	100.0 (59)	47.5	27.1	1.7	13.6	40.7	11.9	3.4	1.7	18.6	6.8	5.1	6.8	
女	100.0 (45)	42.2	37.8	2.2	11.1	40.0	22.2	11.1	－	15.6	17.8	2.2	－	

(11) 福祉的就労経験の有無一性別、仕事の種類〔複数回答〕別

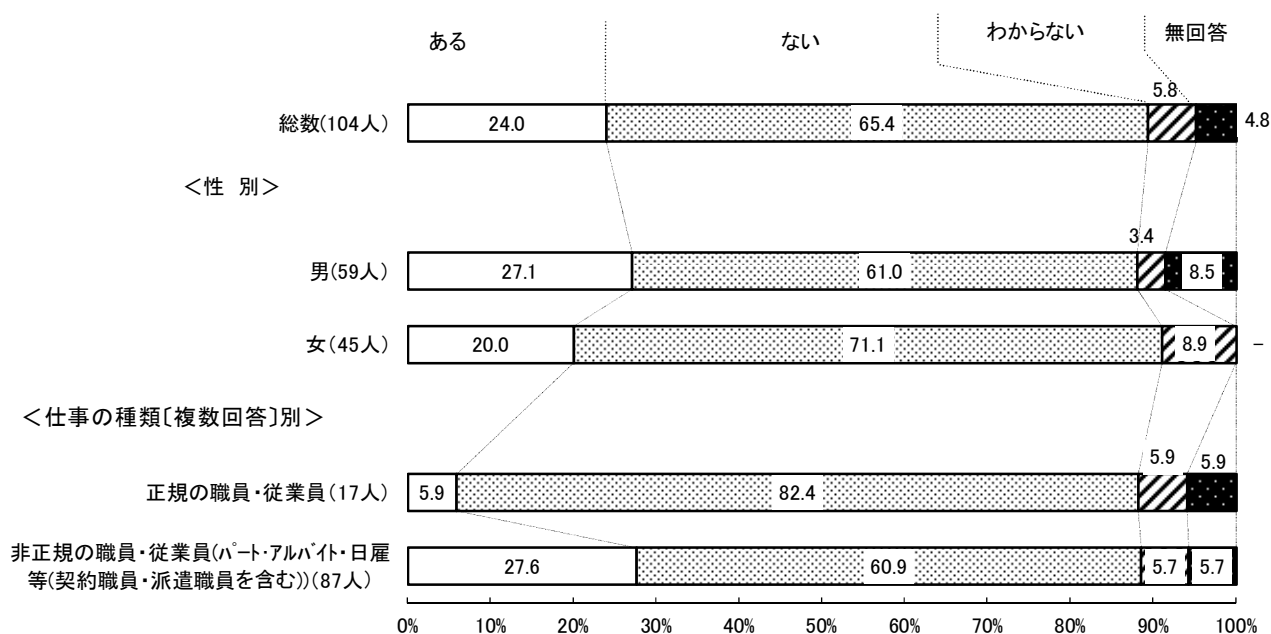
※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である 104 人が対象

これまでに福祉的就労をしたことが「ある」割合は 24.0%

これまでに、福祉的就労をしたことがあるか聞いたところ、「ある」の割合が 24.0%、「ない」の割合は 65.4%であった。仕事の種類別にみると「ある」の割合は、正規の職員・従業員が 5.9%、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））が 27.6%となっている。（図Ⅳ-5-6）

問 これまでに、福祉的就労をしたことがありますか。

図Ⅳ-5-6 福祉的就労経験の有無一性別、仕事の種類〔複数回答〕別



（注）仕事の種類が「会社等の役員」については、母集団が少数のため省略した。

(12) 現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、収入を伴う仕事の有無別

※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている人（416人）が対象

現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由は「健康・体力上の理由（病気等を含む）」の割合が最も高く78.1%、次いで、「人間関係が難しいため」が23.6%

現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由は「健康・体力上の理由（病気等を含む）」の割合が78.1%と最も高く、次いで「人間関係が難しいため」が23.6%となっている。

年齢階級別にみると「健康・体力上の理由（病気等を含む）」の割合は、50代で最も高く82.0%、「人間関係が難しいため」の割合は、29歳以下で最も高く53.8%となっている。（表IV-5-6）

問 現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由は何ですか。

表IV-5-6 現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、収入を伴う仕事の有無別

	総数	自分に適した仕事がない	（健康・体力上の理由 （病気等を含む）	会社倒産、人員整理など	（結婚、育児、介護など）	高齢のため（定年を含む）	人間関係が難しいため	就学のため	受け入れてくれる職場がないため	働く必要がないため	働きたくないため	その他	無回答
総数	100.0 (416)	18.0	78.1	-	4.8	10.8	23.6	1.0	21.2	3.8	4.8	4.1	3.8
年齢階級別	29歳以下	100.0 (26)	23.1	69.2	-	-	53.8	3.8	23.1	-	3.8	3.8	7.7
	30～39歳	100.0 (68)	22.1	77.9	-	2.9	33.8	2.9	29.4	-	5.9	2.9	4.4
	40～49歳	100.0 (110)	21.8	78.2	-	3.6	22.7	0.9	29.1	2.7	4.5	8.2	2.7
	50～59歳	100.0 (100)	21.0	82.0	-	10.0	23.0	-	18.0	6.0	4.0	1.0	5.0
	60～69歳	100.0 (77)	10.4	76.6	-	5.2	24.7	14.3	13.0	3.9	5.2	3.9	2.6
	70歳以上	100.0 (35)	2.9	77.1	-	-	42.9	5.7	5.7	11.4	5.7	2.9	2.9
	（再掲）65歳以上	100.0 (65)	3.1	80.0	-	-	38.5	9.2	4.6	6.2	6.2	3.1	1.5
収入を伴う別	仕事をしていない	100.0 (369)	17.6	79.7	-	5.1	10.6	24.4	0.8	20.3	4.3	3.3	3.5
	福祉的就労をしている （就労継続支援A型・B型、就労移行支援）	100.0 (47)	21.3	66.0	-	2.1	12.8	17.0	2.1	27.7	-	10.6	6.4

(13) 会社等での就労経験の有無－収入を伴う仕事の有無別

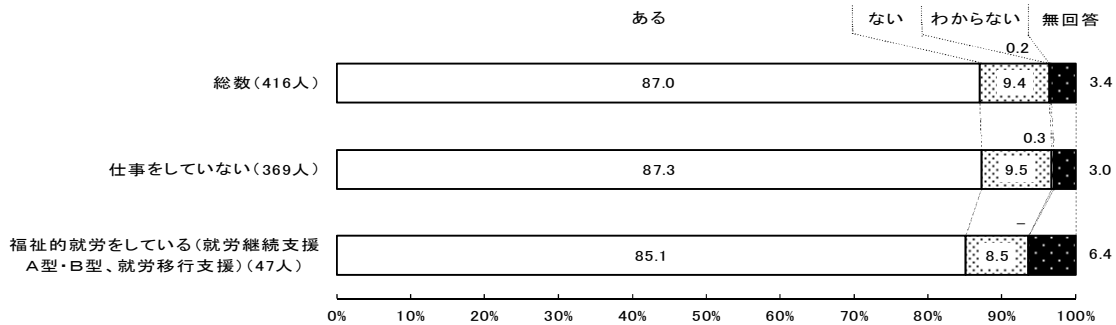
※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている人（416人）が対象

過去、会社等で働いたこと（パート、アルバイト等を含む）が「ある」割合は87.0%

過去に会社等で働いたこと（パート、アルバイト等を含む）が「ある」と答えた割合は87.0%、「ない」は9.4%であった。（図IV-5-7）

問 あなたは、過去、会社等で働いたこと（パート、アルバイト等を含む）がありますか。

図IV-5-7 会社等での就労経験の有無－収入を伴う仕事の有無別



(14) 会社等での就労意向の有無－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の程度別

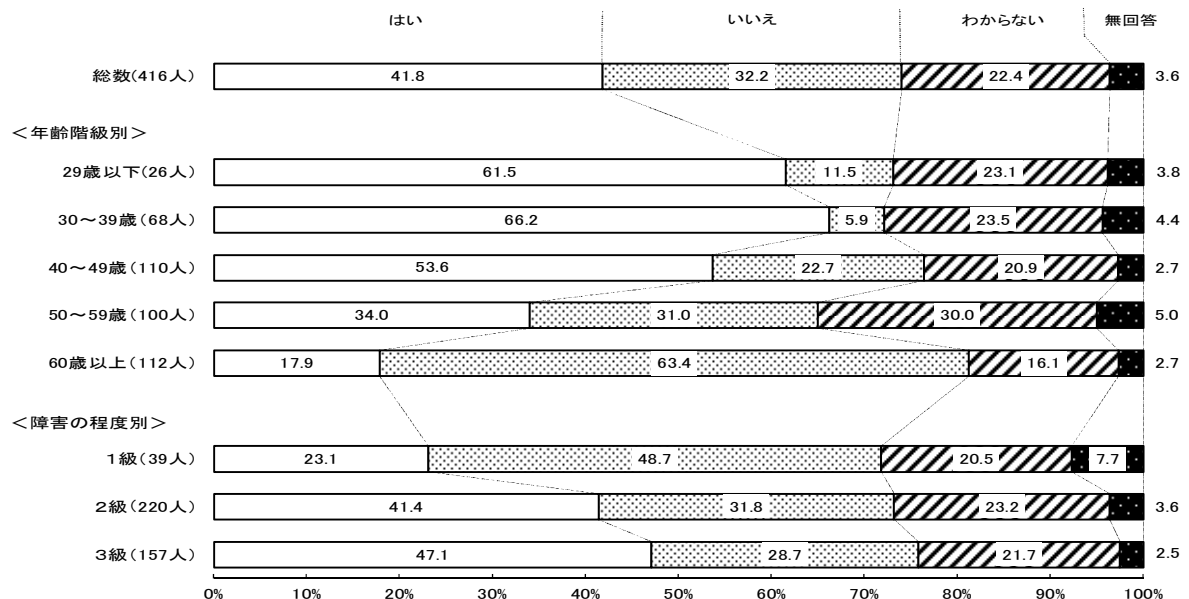
※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている人（416人）が対象

今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）人は41.8%

今後、会社等で働きたいか（パート、アルバイト等を含む）聞いたところ、「はい」と答えた割合は41.8%で、年齢階級別にみると、29歳以下と30代では「はい」と答えた割合が6割を超えている。（図IV-5-8）

問 今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）と思いますか。

図IV-5-8 会社等での就労意向の有無－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の程度別



(15) 会社等で働くにあたって、心配なこと（課題）

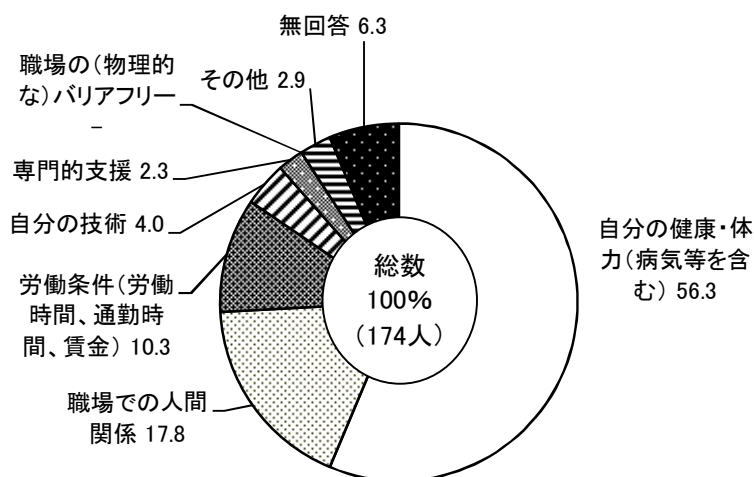
※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている人のうち、今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）と答えた 174 人が対象

かいしゃとう はたら 心配なこと（課題）は「自分の健康・体力（病気等を含む）」
の割合が最も高く 56.3%

今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）と答えた 174 人に、会社等で働くにあたって、心配なこと（課題）を聞いたところ、「自分の健康・体力（病気等を含む）」と答えた割合が最も高く 56.3%、次いで「職場での人間関係」が 17.8%であった。（図Ⅳ-5-9）

問 会社等で働くにあたって、心配なこと（課題）は何ですか。

図Ⅳ-5-9 会社等で働くにあたって、心配なこと（課題）



6 経済基盤

(1) 収入の種類〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、平成24年中の収入額（生活保護費を除く）、診断名〔複数回答〕別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が46.6%、「生活保護費」が32.6%

平成24年中の収入の種類（複数回答）は、「年金・恩給」の割合が46.6%と最も高く、次いで「生活保護費」の割合が32.6%となっている。

「年金・恩給」の割合を年間収入額別にみると100～150万円未満で83.3%となっている。（表IV-6-1）

問 平成24年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きします。

表IV-6-1 収入の種類〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、平成24年中の収入額（生活保護費を除く）、診断名〔複数回答〕別

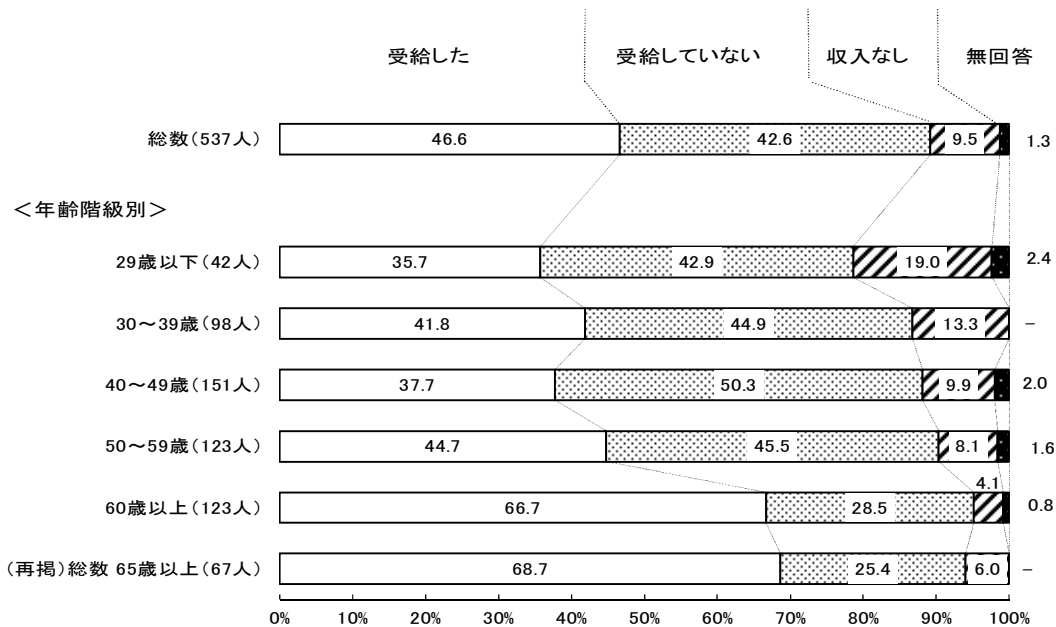
	総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り・小遣い※	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	無回答
総数	100.0 (537)	19.6	0.7	0.4	0.7	0.6	10.1	0.2	46.6	32.6	6.1	0.6	0.6	7.6	2.4	9.5	1.3
年齢階級別	29歳以下	100.0 (42)	35.7	-	-	-	14.3	-	35.7	19.0	9.5	-	-	2.4	4.8	19.0	2.4
	30～39歳	100.0 (98)	26.5	1.0	1.0	-	16.3	1.0	41.8	20.4	6.1	1.0	-	13.3	1.0	13.3	-
	40～49歳	100.0 (151)	23.2	-	-	-	1.3	9.3	37.7	38.4	6.6	1.3	0.7	6.0	1.3	9.9	2.0
	50～59歳	100.0 (123)	17.1	0.8	-	-	10.6	-	44.7	37.4	5.7	-	1.6	8.1	2.4	8.1	1.6
	60歳以上	100.0 (123)	6.5	1.6	0.8	3.3	0.8	4.1	66.7	35.0	4.9	-	-	6.5	4.1	4.1	0.8
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (67)	3.0	1.5	-	1.5	3.0	-	68.7	35.8	4.5	-	-	4.5	3.0	6.0	-
(生活保護費を額除く)	収入なし	100.0 (136)	-	-	-	-	0.7	-	-	62.5	-	-	-	-	-	36.8	-
	50万円未満	100.0 (81)	18.5	-	2.5	-	1.2	22.2	1.2	34.6	44.4	16.0	1.2	1.2	21.0	4.9	-
	50～100万円未満	100.0 (149)	14.1	-	-	0.7	0.7	12.8	-	79.2	18.8	4.7	-	0.7	9.4	1.3	-
	100～150万円未満	100.0 (60)	35.0	-	-	1.7	1.7	8.3	-	83.3	16.7	10.0	-	-	8.3	1.7	-
	150～200万円未満	100.0 (33)	39.4	3.0	-	-	-	9.1	-	69.7	9.1	6.1	-	-	12.1	3.0	3.0
	200～300万円未満	100.0 (27)	55.6	3.7	-	3.7	-	11.1	-	63.0	7.4	3.7	3.7	-	-	3.7	-
	300万円以上	100.0 (21)	76.2	9.5	-	-	-	9.5	-	28.6	-	9.5	4.8	4.8	-	9.5	-
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	19.0	-	-	-	-	4.8	-	28.6	61.9	-	-	-	-	9.5	4.8
	統合失調症	100.0 (236)	15.7	0.8	0.8	0.8	0.4	9.3	-	51.7	32.6	4.2	0.4	0.8	12.3	2.5	9.3
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	21.4	1.4	0.5	1.0	-	11.0	0.5	41.4	36.2	6.7	1.4	0.5	5.2	1.9	9.5
	人格障害	100.0 (13)	23.1	-	-	-	-	15.4	-	23.1	53.8	7.7	-	7.7	7.7	-	-
	てんかん	100.0 (45)	24.4	-	-	-	2.2	4.4	-	42.2	33.3	6.7	-	-	4.4	-	15.6
	発達障害(自閉症、学習障害など)	100.0 (36)	36.1	-	-	-	-	13.9	-	36.1	13.9	11.1	2.8	-	8.3	-	16.7
	高次脳機能障害	100.0 (13)	38.5	-	-	-	-	7.7	-	53.8	15.4	15.4	-	-	7.7	-	7.7
	その他	100.0 (75)	13.3	-	-	-	1.3	8.0	-	45.3	40.0	9.3	-	-	4.0	4.0	5.3
20年度		100.0 (529)	17.2	0.8	0.2	1.1	1.1	2.6	0.6	52.9	31.0	9.1	0.9	0.4	8.5	6.0	8.9

(注)※は20年度調査では「仕送り」としていた。

(2) 年金・恩給の受給の有無一年齢階級別

平成 24 年中に年金・恩給を「受給した」割合を年齢階級別にみると、65 歳以上で 68.7%と高くなっている。(図Ⅳ-6-1)

図Ⅳ-6-1 年金・恩給の受給の有無一年齢階級別

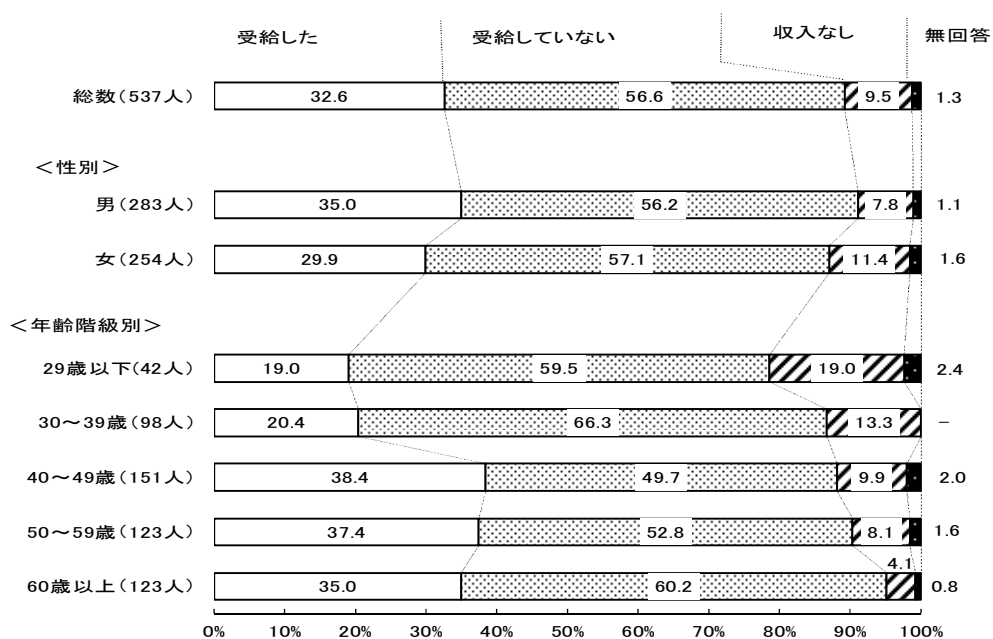


(3) 生活保護の受給の有無一年齢階級別

平成 24 年中に生活保護を「受給した」割合を性別にみると「受給した」割合は、女性 (29.9%) より男性 (35.0%) が高い。

年齢階級別にみると「受給した」割合は、40 歳以上の階級でいずれも 3 割を超えている。(図Ⅳ-6-2)

図Ⅳ-6-2 生活保護の受給の有無一年齢階級別



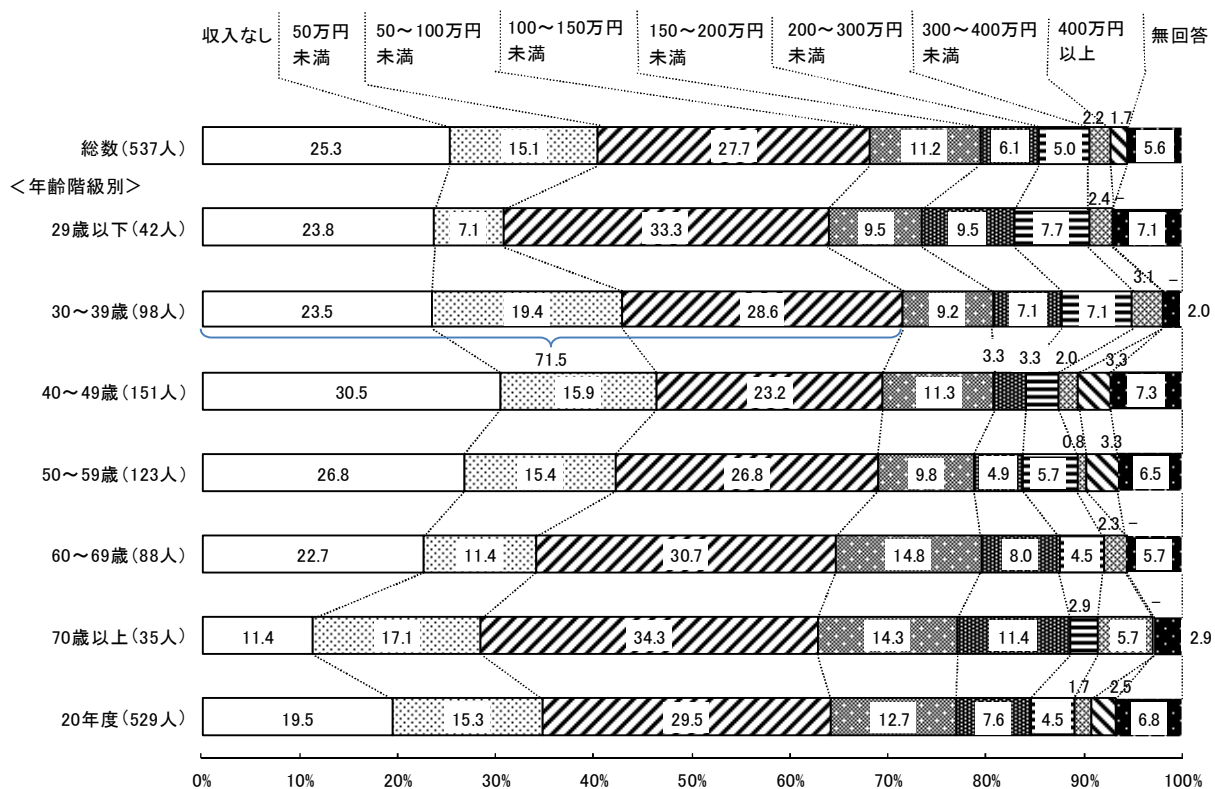
(4) 平成24年中の収入額（生活保護費を除く）一年齢階級別

ねんしゅう
年 収 は 「50～100万円未満」 の割合が 最 も 高 い

平成24年中の収入額は「50～100万円未満」の割合が高く27.7%である。年齢階級別にみると30代では「収入なし」も含めた100万円未満の割合が7割を超えている（71.5%）。(図IV-6-3)

問 あなたの平成24年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た収入や作業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や家族からの仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

図IV-6-3 平成24年中の収入額（生活保護費を除く）一年齢階級別



(5) 平成 24 年中の収入額（生活保護費を除く）－障害の程度、診断名〔複数回答〕別

平成 24 年中の収入額を障害の程度別でみると、1 級、2 級では「50～100 万円未満」の割合が最も高く（1 級 34.9%、2 級 33.0%）、3 級では「収入なし」が 30.4%で最も高い。

診断名別にみると、アルコール・薬物依存症では「収入なし」の割合が 4 割を超えている。

（表Ⅳ-6-2）

表Ⅳ-6-2 平成 24 年中の収入額（生活保護費を除く）－障害の程度、診断名〔複数回答〕別

	総 数	収 入 な し	5 0 万 円 未 満	5 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	3 0 0 万 円 未 満	4 0 0 万 円 未 満	5 0 0 万 円 未 満	6 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	無 回 答
総数	100.0 (537)	25.3	15.1	27.7	11.2	6.1	3.4	1.7	2.2	0.7	0.2	-	0.6	-	0.2	5.6
障害 の 程 度 別	1 級 (43)	100.0	30.2	14.0	34.9	11.6	7.0	-	-	-	2.3	-	-	-	-	-
	2 級 (267)	100.0	20.2	15.0	33.0	12.7	6.7	3.7	0.7	1.1	0.4	-	-	-	-	6.4
	3 級 (227)	100.0	30.4	15.4	20.3	9.3	5.3	3.5	3.1	4.0	0.9	0.4	-	1.3	-	5.7
診 断 名 〔 複 数 回 答 〕 別	アルコール・薬物依存症 (21)	100.0	42.9	14.3	9.5	4.8	14.3	4.8	-	-	-	-	-	-	-	9.5
	統合失調症 (236)	100.0	22.5	16.9	35.2	9.7	5.1	3.0	0.8	0.8	0.4	-	-	-	-	5.5
	そううつ病、うつ病 (210)	100.0	29.0	14.3	19.5	11.4	8.6	4.8	1.4	3.3	0.5	0.5	-	1.0	-	5.2
	人格障害 (13)	100.0	30.8	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	-	7.7
	てんかん (45)	100.0	33.3	11.1	31.1	8.9	6.7	-	-	4.4	2.2	-	-	-	-	2.2
	発達障害(自閉症、学習障害など) (36)	100.0	25.0	25.0	25.0	11.1	2.8	2.8	5.6	2.8	-	-	-	-	-	-
	高次脳機能障害 (13)	100.0	23.1	-	38.5	7.7	7.7	-	7.7	-	7.7	-	-	-	-	7.7
	その他 (75)	100.0	32.0	14.7	28.0	12.0	5.3	1.3	-	-	-	-	-	-	-	6.7

7 社会参加等

(1) 平日の日中主に過ごしたところ一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

平日の日中主に過ごしたところは「自分の家」の割合が最も高く66.7%

平日の日中主に過ごしたところについて聞いたところ、「自分の家」の割合が66.7%と最も高く、次いで「職場（福祉的就労の施設を除く）」の割合が11.5%となっている。

年齢階級別にみると、29歳以下では、自分の家以外で過ごしている人が5割を超えている（52.4%）。（表Ⅳ-7-1）

問 この1年間にあなたは、平日の日中主にどこで過ごしましたか。

表Ⅳ-7-1 平日の日中主に過ごしたところ一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

		総 数	自 分 の 家	施 設 を （ 福 祉 的 就 労 の ）	施 設 場 （ 福 祉 的 就 労 の ）	学 校	自 立 通 所 訓 練 施 設 （ 生 活 介 護 ・ 事 業 所 な ど ）	地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー	デ イ ケ ア 等	入 所 施 設	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (537)	66.7	11.5	5.2	0.6	2.6	1.9	4.7	2.8	3.4	0.7
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	47.6	23.8	4.8	7.1	2.4	2.4	9.5	-	2.4	-
	30～39歳	100.0 (98)	63.3	16.3	7.1	-	5.1	2.0	2.0	-	3.1	1.0
	40～49歳	100.0 (151)	64.2	15.2	4.6	-	4.0	-	4.0	3.3	4.6	-
	50～59歳	100.0 (123)	73.2	6.5	6.5	-	0.8	4.1	2.4	2.4	1.6	2.4
	60歳以上	100.0 (123)	72.4	4.1	3.3	-	0.8	1.6	8.1	5.7	4.1	-
	（再掲）65歳以上	100.0 (67)	80.6	-	1.5	-	1.5	1.5	6.0	7.5	1.5	-
診 断 名 （ 複 数 回 答 ） 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	66.7	9.5	-	-	4.8	-	4.8	-	4.8	9.5
	統合失調症	100.0 (236)	61.0	9.7	6.4	0.4	3.4	3.0	6.4	5.5	3.4	0.8
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	71.9	12.4	3.8	0.5	1.9	1.0	5.2	-	2.9	0.5
	人格障害	100.0 (13)	69.2	15.4	7.7	-	-	7.7	-	-	-	-
	てんかん	100.0 (45)	66.7	17.8	4.4	-	6.7	2.2	-	-	2.2	-
	発達障害（自閉症、学習障害など）	100.0 (36)	58.3	19.4	5.6	5.6	2.8	-	5.6	-	2.8	-
	高次脳機能障害	100.0 (13)	46.2	15.4	7.7	-	7.7	-	7.7	-	7.7	7.7
	その他	100.0 (75)	80.0	5.3	5.3	1.3	2.7	1.3	-	1.3	2.7	-

(2) 現在利用している施設に満足しているかー性別、平日の日中主に過ごしたところ別

※平日の日中主に職場（福祉的就労の施設）または通所施設（生活介護・自立訓練事業所など）、地域活動支援センター、デイケア等で過ごしている 77 人が対象

現在利用している施設に「とても満足している」割合は 22.1%で最も高い

平日の日中主に職場（福祉的就労の施設）、通所施設（生活介護・自立訓練事業所など）、地域活動支援センターまたはデイケア等で過ごしている人で、現在利用している施設に「とても満足している」と答えた割合は 22.1%で最も高く、これに「満足している（15.6%）」と「だいたい満足している（15.6%）」を合計した割合は 53.2%と 5 割を超えた。一方で、「やや不満である（15.6%）」、「不満である（6.5%）」及び「とても不満である（3.9%）」と答えた人の合計は 26.0%であった。（表Ⅳ-7-2）

問 あなたは、現在利用している施設に満足していますか。

表Ⅳ-7-2 現在利用している施設に満足しているかー性別、平日の日中主に過ごしたところ別

		総 数	と も も 満 足 し て い る	満 足 し て い る	だ い た い 満 足 し て い る	ふ つ う	や や 不 満 で あ る	不 満 で あ る	と も も 不 満 で あ る	無 回 答
総数		100.0 (77)	22.1	15.6	15.6	16.9	15.6	6.5	3.9	3.9
			53.2				26.0			
性別	男	100.0 (53)	18.9	17.0	17.0	15.1	17.0	5.7	5.7	3.8
	女	100.0 (24)	29.2	12.5	12.5	20.8	12.5	8.3	-	4.2
平日の日中主に過ごしたところ別	職場（福祉的就労の施設）	100.0 (28)	25.0	14.3	10.7	14.3	17.9	3.6	7.1	7.1
	通所施設（生活介護・自立訓練事業所など）	100.0 (14)	14.3	14.3	28.6	21.4	7.1	7.1	-	7.1
	地域活動支援センター	100.0 (10)	40.0	10.0	20.0	-	20.0	10.0	-	-
	デイケア等	100.0 (25)	16.0	20.0	12.0	24.0	16.0	8.0	4.0	-

(3) 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

20年度調査よりも「趣味の活動（スポーツ、文化的）」の割合が5.3ポイント上昇

この1年間に行った趣味、学習、スポーツ、社会活動について聞いたところ、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物」の割合が最も高く38.0%、次いで「趣味の活動（スポーツ、文化的）」が30.4%と続く。一方で、「活動したいと思うができない」の割合も26.3%となっている。

20年度調査と比べると、「趣味の活動（スポーツ、文化的）」が5.3ポイント、「活動したいと思うができない」が3.6ポイント増加した。（表Ⅳ-7-3）

問 この1年間にあなたは、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。

表Ⅳ-7-3 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

		総 数	ど の 鑑 賞 、 見 物	画 、 サ ー ト や 映 画	レ ジ ャ ー 活 動	学 習 活 動	的 （ ポ ー ツ 、 文 化 ヘ ス	趣 味 の 活 動 化	動 や N P O 活 動	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	ど の 自 助 グ ル ー プ な の 活 動	場 所 が で き な い 活 動	参 加 で き な い と 思 う 活 動	活 動 し た い と 思 わ な い	活 動 し た い と 思 わ な い	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (537)	38.0	15.5	13.0	30.4	4.5	3.5	5.0	26.3	16.2	5.6	3.4				
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	66.7	28.6	26.2	47.6	4.8	9.5	7.1	16.7	4.8	-	-				
	30～39歳	100.0 (98)	52.0	23.5	18.4	33.7	7.1	3.1	6.1	28.6	5.1	9.2	1.0				
	40～49歳	100.0 (151)	41.7	15.2	17.9	28.5	3.3	4.0	6.0	26.5	19.9	3.3	2.0				
	50～59歳	100.0 (123)	26.8	10.6	5.7	29.3	4.9	2.4	3.3	27.6	16.3	6.5	8.1				
	60～69歳	100.0 (88)	26.1	10.2	5.7	19.3	3.4	3.4	5.7	26.1	23.9	6.8	3.4				
	70歳以上	100.0 (35)	17.1	8.6	5.7	40.0	2.9	-	-	25.7	25.7	5.7	2.9				
診 断 名 （ 複 数 回 答 ） 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	42.9	19.0	4.8	19.0	-	9.5	4.8	33.3	23.8	-	9.5				
	統合失調症	100.0 (236)	35.6	14.8	14.4	32.2	3.8	5.5	5.9	21.2	16.9	5.9	5.1				
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	43.3	18.6	11.4	31.9	5.2	3.3	4.3	31.9	12.4	5.7	1.0				
	人格障害	100.0 (13)	61.5	15.4	7.7	53.8	7.7	7.7	23.1	23.1	15.4	-	-				
	てんかん	100.0 (45)	28.9	15.6	11.1	28.9	6.7	2.2	6.7	31.1	8.9	2.2	4.4				
	発達障害（自閉症、学習障害など）	100.0 (36)	50.0	33.3	27.8	41.7	5.6	2.8	11.1	16.7	13.9	2.8	-				
	高次脳機能障害	100.0 (13)	46.2	23.1	15.4	23.1	7.7	15.4	-	15.4	15.4	7.7	-				
	その他	100.0 (75)	34.7	13.3	13.3	30.7	6.7	1.3	5.3	26.7	17.3	8.0	5.3				
20年度		100.0 (529)	34.4	12.3	11.2	25.1	6.4	2.6	1.9	22.7	20.0	3.4	5.5				

(4) 社会参加をする上で、妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

一年齡階級、診断名〔複数回答〕別

「^{けいざいてき}経済的な理由」が^{しゃかいさんか}社会参加をする上で^{うえ}妨げになっている割合が^{さまた}最も^{わりあい}高く^{もっと}31.8%^{たか}

社会参加をする上で妨げになっていることを聞いたところ、「経済的な理由」の割合が最も高く 31.8%、次いで「まわりの人の障害者に対する理解不足」が 21.4%となっている。一方で「特になし」も 27.6%となっている。

年齢階級別にみると、30代で「まわりの人の障害者に対する理解不足」の割合が30.6%となっており、総数（21.4%）と比べて高くなっている。（表Ⅳ-7-4）

問 ^{しゃかいさんか} 社会参加をする上で、^{うえ} 妨 ^{さまた} げになっていることはありますか。

表IV-7-4 社会参加をする上で、妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

一年齡階級、診斷名〔複數回答〕別

		総数	経済的な理由	介助者がいない	情報がない	障害者に対するまわりの人の理解不足	被害者の利用を拒否される理由に施設等の利用を拒害を理由に施設等がない相談相手がいれない行く仲間	その他	特にない	無回答		
総数		100.0 (537)	31.8	5.0	15.3	21.4	1.7	13.8	18.6	17.3	27.6	3.2
年齢階級別	29歳以下	100.0 (42)	31.0	9.5	14.3	26.2	－	16.7	21.4	9.5	33.3	2.4
	30～39歳	100.0 (98)	37.8	3.1	20.4	30.6	－	19.4	26.5	13.3	15.3	3.1
	40～49歳	100.0 (151)	35.8	4.6	13.9	26.5	2.6	15.9	15.9	15.9	25.2	5.3
	50～59歳	100.0 (123)	33.3	4.9	17.1	19.5	3.3	9.8	17.1	21.1	24.4	3.3
	60～69歳	100.0 (88)	25.0	8.0	14.8	10.2	1.1	13.6	21.6	20.5	35.2	－
	70歳以上	100.0 (35)	11.4	－	2.9	2.9	－	－	2.9	22.9	57.1	2.9
	(再掲) 65歳以上	100.0 (67)	22.4	－	7.5	4.5	－	7.5	6.0	25.4	44.8	1.5
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	19.0	－	19.0	28.6	9.5	4.8	14.3	14.3	33.3	4.8
	統合失調症	100.0 (236)	27.1	6.4	16.9	21.2	1.3	12.3	19.1	16.1	30.5	3.4
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	41.0	5.2	11.9	24.3	2.4	16.7	18.1	17.6	21.9	2.9
	人格障害	100.0 (13)	53.8	－	15.4	30.8	7.7	15.4	15.4	23.1	－	7.7
	てんかん	100.0 (45)	28.9	4.4	17.8	24.4	2.2	8.9	15.6	17.8	26.7	4.4
	発達障害(自閉症、学習障害など)	100.0 (36)	44.4	－	27.8	30.6	－	30.6	30.6	16.7	13.9	－
	高次脳機能障害	100.0 (13)	38.5	7.7	－	46.2	7.7	15.4	－	23.1	15.4	－
	その他	100.0 (75)	28.0	2.7	17.3	18.7	2.7	16.0	22.7	21.3	24.0	4.0
20年度		100.0 (529)	24.6	4.0	11.0	22.9	2.6	10.0	15.7	16.1	33.6	2.8

(5) 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

しょうがい 障害のためにあきらめたり妥協したことは、「就 職」が最も高く 39.7%、次いで「旅行
えんきょり がいしゅつ や遠距離の外出」が 38.7%

障害のためにあきらめたり妥協したことの割合は、「就職」が最も高く 39.7%、次いで「旅行や遠距離の外出」が 38.7%、「人付き合い」が 32.2%と続く。

年齢階級別にみると 30 代は「就職」の割合が高く 59.2%、50 代は「旅行や遠距離の外出」「就職」「人付き合い」の割合が高い (43.1%、40.7%、40.7%)。

診断名別にみると、発達障害（自閉症、学習障害など）では「進学」と「人付き合い」の割合が、総数に比べて高くなっている。（表Ⅳ-7-5）

とい 問 あなたはしょうがいをもっているためにあきらめたり、だきょうえ 妥協せざるを得なかったことがありますか。

表Ⅳ-7-5 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

		総 数	進 学	就 職	い異 性との 付き合	結 婚	出 産・ 育児	人 付き 合い	近 距 離の 外 出	外 出 旅行 や遠 距離 の	ど の お し し や れ な	活 動 ス ポ ー ツ・ 文 化	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数		100.0 (537)	11.5	39.7	22.3	26.1	13.6	32.2	19.0	38.7	15.8	20.3	4.5	21.4	1.9
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	33.3	40.5	35.7	28.6	16.7	35.7	11.9	28.6	4.8	4.8	-	11.9	2.4
	30～39歳	100.0 (98)	20.4	59.2	30.6	37.8	24.5	34.7	14.3	35.7	20.4	25.5	6.1	9.2	-
	40～49歳	100.0 (151)	10.6	42.4	30.5	31.8	19.2	31.1	23.2	40.4	20.5	21.2	5.3	19.9	2.6
	50～59歳	100.0 (123)	6.5	40.7	14.6	21.1	8.1	40.7	22.0	43.1	17.9	22.0	7.3	16.3	3.3
	60～69歳	100.0 (88)	4.5	23.9	11.4	17.0	3.4	27.3	14.8	38.6	9.1	20.5	-	40.9	-
	70歳以上	100.0 (35)	-	8.6	2.9	5.7	-	8.6	22.9	37.1	5.7	14.3	2.9	42.9	2.9
	(再掲) 65歳以上	100.0 (67)	-	6.0	3.0	7.5	1.5	16.4	20.9	38.8	6.0	20.9	1.5	41.8	1.5
診 断 名 〔 複 数 回 答 〕 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	4.8	42.9	14.3	9.5	4.8	28.6	9.5	33.3	9.5	4.8	4.8	28.6	9.5
	統合失調症	100.0 (236)	16.1	41.5	25.4	29.2	14.4	30.9	16.9	36.4	15.7	17.4	3.0	22.5	2.5
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	7.6	41.9	21.4	25.7	14.8	34.8	23.3	42.9	20.0	26.2	5.2	20.0	-
	人格障害	100.0 (13)	7.7	23.1	15.4	23.1	15.4	46.2	23.1	53.8	46.2	38.5	7.7	7.7	-
	てんかん	100.0 (45)	13.3	37.8	20.0	24.4	20.0	35.6	17.8	35.6	15.6	26.7	15.6	8.9	4.4
	発達障害(自閉症、学習 障害など)	100.0 (36)	36.1	44.4	33.3	38.9	19.4	50.0	16.7	44.4	22.2	19.4	-	5.6	-
	高次脳機能障害	100.0 (13)	23.1	53.8	38.5	30.8	23.1	46.2	30.8	46.2	-	23.1	7.7	7.7	-
	その他	100.0 (75)	4.0	33.3	17.3	25.3	13.3	34.7	22.7	45.3	16.0	20.0	2.7	24.0	1.3
20年度		100.0 (529)	10.8	41.0	22.3	25.0	11.2	29.7	15.9	37.6	13.4	18.1	4.2	22.5	3.0

8 情報の入手やコミュニケーションの手段

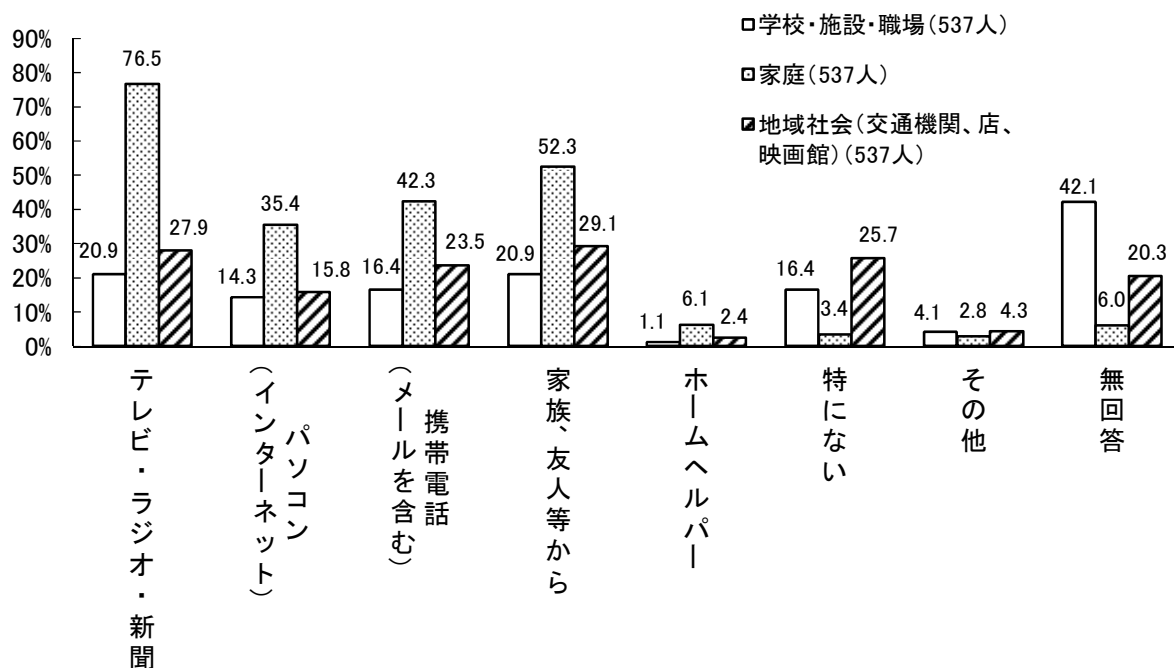
(1) 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕

情報の入手やコミュニケーションの手段は「家庭」では「テレビ・ラジオ・新聞」の割合が最も高く 76.5%

「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会（交通機関、店、映画館）」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしているか聞いたところ、「学校・施設・職場」では「テレビ・ラジオ・新聞」及び「家族、友人等から」の割合がともに 20.9% で最も高く、「家庭」では「テレビ・ラジオ・新聞」が 76.5%、「地域社会」では「家族、友人等から」が 29.1% で最も高くなっている。（図Ⅳ-8-1）

問 あなたは、「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。

図Ⅳ-8-1 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕



(2) 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕

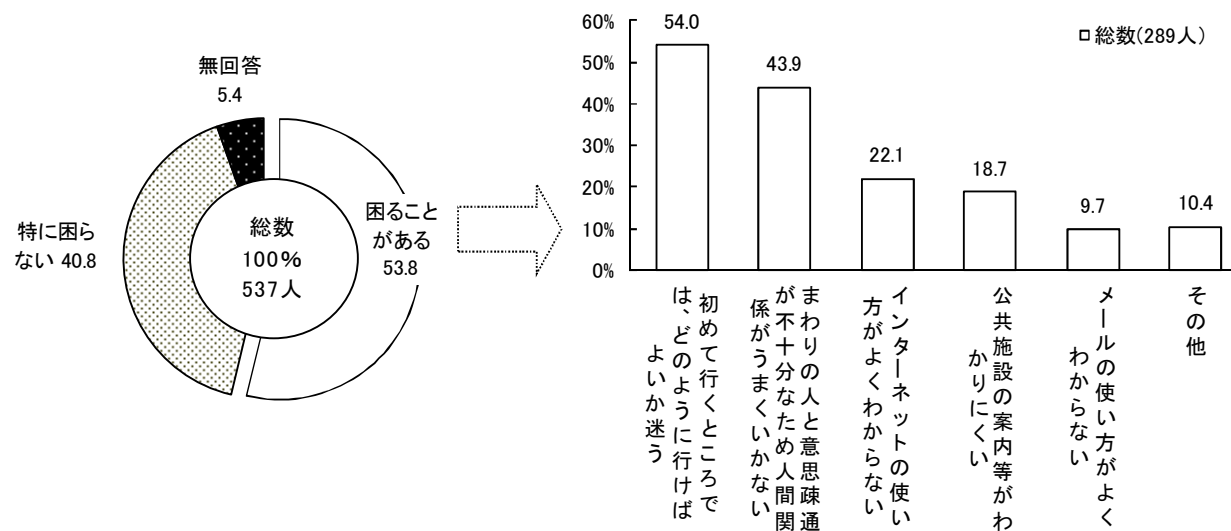
情報は入手したりコミュニケーションをとる上で困ることは、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」の割合が最も高い

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ、「困ることがある」と答えた割合は53.8%と半数以上の人困ることがあると回答した。

「困ることがある」の内容で最も割合が高かったのは、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」で54.0%であった。(図IV-8-2)

あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

図IV-8-2 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕



9 障害者総合支援法※による障害福祉サービス等

※（平成25年3月までは障害者自立支援法。以下同じ。）

（1）障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

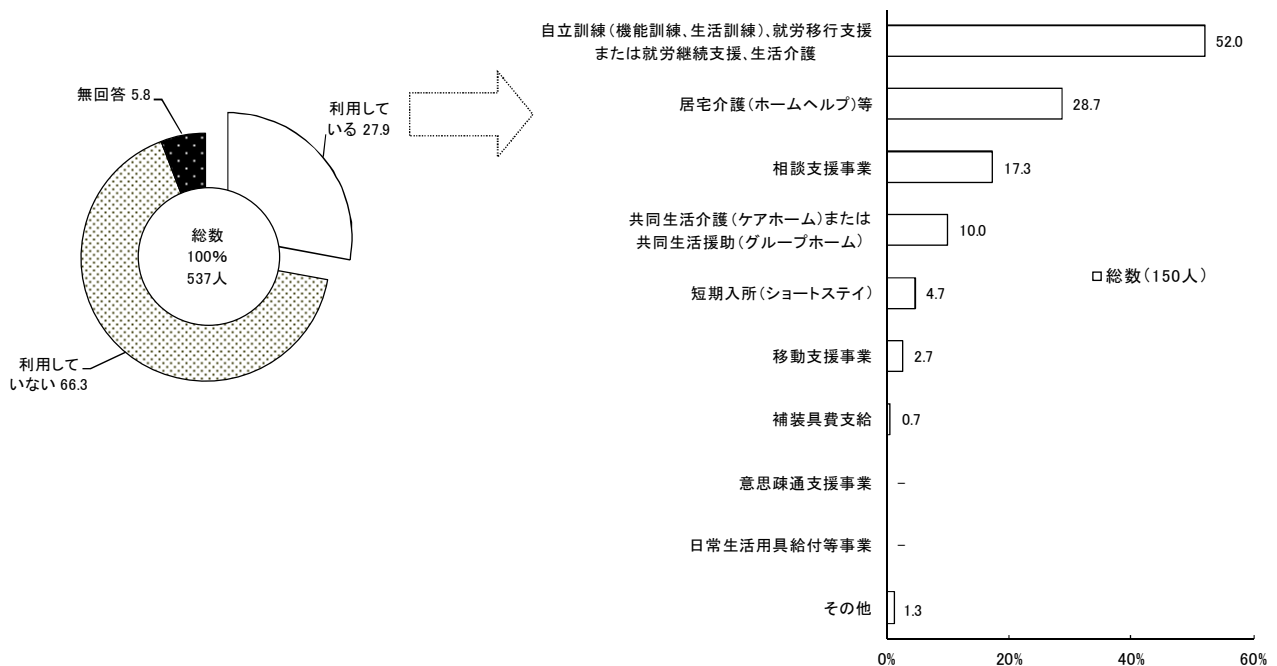
障害者総合支援法によるサービスを「利用している」割合は27.9%で、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）、就労移行支援または就労継続支援、生活介護」の割合が最も高い

過去1年間に障害者総合支援法によるサービスを「利用している」割合は27.9%、「利用していない」が66.3%であった。

利用した内容で最も割合が高かったのは「自立訓練（機能訓練、生活訓練）、就労移行支援または就労継続支援、生活介護」で52.0%であった。（図IV-9-1）

問 過去1年間に障害者総合支援法による障害福祉サービスについて、どのような内容のサービスを利用しましたか。

図IV-9-1 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕



(2) 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

一年齢階級、障害の程度別

障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）について年齢階級別にみると、29歳以下、30代及び50代で「利用している」割合が3割を超えている。

障害の程度別にみると、障害福祉サービスを「利用している」割合は2級で34.8%と他の程度よりも高くなっている。（表Ⅳ-9-1）

表Ⅳ-9-1 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

一年齢階級、障害の程度別

		総 数	利 用 し て い る	居宅介護（ホームヘルプ）等 重度訪問介護、同行支援、行動援 護、重度障害者等包括支援を含む）	短期入所（ショートステイ）	自立訓練（機能訓練、生活訓練）、 就労移行支援または就労継続支援、 生活介護	共同生活援助（グループホーム）または 共同生活介護（ケアホーム）または	補 装 具 費 支 給	相 談 支 援 事 業	意 思 疎 通 支 援 事 業	日 常 生 活 用 具 給 付 等 事 業	移 動 支 援 事 業	そ の 他	利 用 し て い な い	無 回 答
総数		100.0 (537)	27.9	8.0	1.3	14.5	2.8	0.2	4.8	-	-	0.7	0.4	66.3	5.8
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	<u>33.3</u>	-	4.8	26.2	7.1	-	9.5	-	-	-	-	57.1	9.5
	30～39歳	100.0 (98)	<u>31.6</u>	4.1	-	19.4	1.0	-	5.1	-	-	1.0	1.0	64.3	4.1
	40～49歳	100.0 (151)	25.8	7.3	0.7	14.6	4.0	-	2.6	-	-	1.3	-	70.9	3.3
	50～59歳	100.0 (123)	<u>30.1</u>	10.6	2.4	14.6	1.6	-	7.3	-	-	-	0.8	65.0	4.9
	60～69歳	100.0 (88)	28.4	14.8	1.1	8.0	3.4	-	4.5	-	-	1.1	-	62.5	9.1
	70歳以上	100.0 (35)	11.4	5.7	-	2.9	-	2.9	-	-	-	-	-	77.1	11.4
	（再掲）65歳以上	100.0 (67)	16.4	9.0	1.5	4.5	-	1.5	1.5	-	-	-	-	70.1	13.4
障 害 の 程 度 別	1級	100.0 (43)	20.9	7.0	-	9.3	-	-	2.3	-	-	2.3	-	69.8	9.3
	2級	100.0 (267)	<u>34.8</u>	9.7	1.9	19.5	5.2	0.4	4.9	-	-	0.4	0.4	59.2	6.0
	3級	100.0 (227)	21.1	6.2	0.9	9.7	0.4	-	5.3	-	-	0.9	0.4	74.0	4.8

（３）居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕

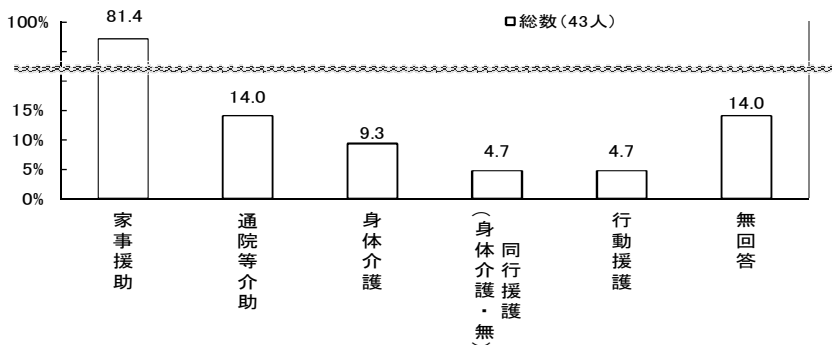
※居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）を利用している 43 人が対象

利用した居宅介護等のサービスの種類は「家事援助」が最も高く 81.4%

障害者総合支援法による障害福祉サービスで居宅介護（ホームヘルプ）等を利用した人は、「家事援助」の割合が 81.4%と最も高くなっている。（図Ⅳ-9-2）

問 あなたが利用した居宅介護等のサービスの種類は何ですか。

図Ⅳ-9-2 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕



（注）「通院等乗降介助」「同行援護（身体介護・有）」「重度訪問介護」「重度障害者等包括支援」は該当者がいないため省略した。

（４）サービス支給量は十分か（居宅介護、短期入所）

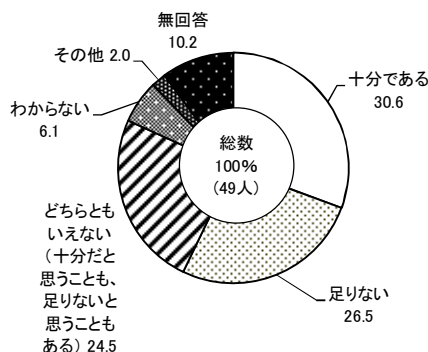
※居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）、短期入所（ショートステイ）を利用している 49 人が対象

サービス支給量が「十分である」と思っている人は 30.6%

障害者総合支援法による障害福祉サービスで居宅介護（ホームヘルプ）等及び短期入所（ショートステイ）を利用した人に支給量は十分か聞いたところ「十分である」は 30.6%、「足りない」は 26.5%、「どちらともいえない」は 24.5%であった。（図Ⅳ-9-3）

問 あなたが利用したサービスについて、支給量が十分だと思いますか。

図Ⅳ-9-3 サービス支給量は十分か（居宅介護、短期入所）



(5) 障害者総合支援法における障害程度区分

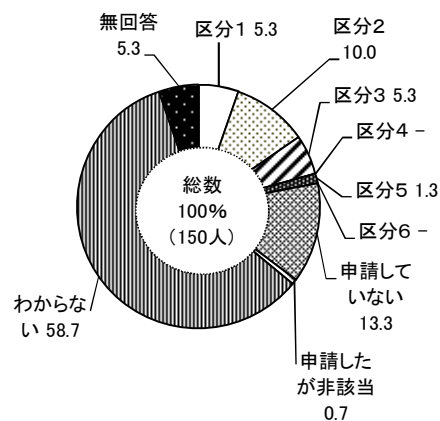
※過去1年間に障害者総合支援法のサービスを利用した150人が対象

障害程度区分は「区分2」が10.0%

障害程度区分は「区分2」の割合が10.0%だが、「申請していない」が13.3%、「わからない」も58.7%となっている。(図IV-9-4)

問 あなたの障害程度区分はいくつかですか。

図IV-9-4 障害者総合支援法における障害程度区分



(6) 障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担

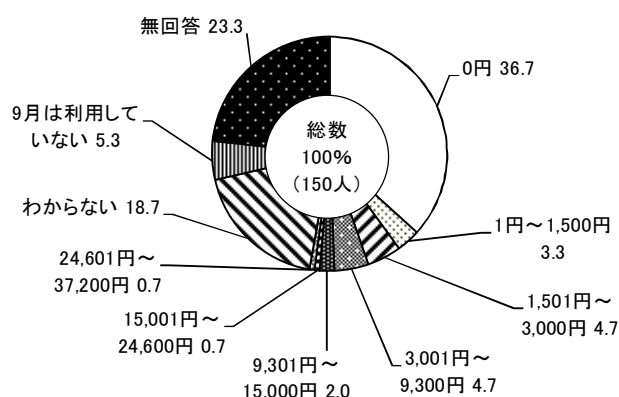
※過去1年間に障害者総合支援法のサービスを利用した150人が対象

障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担額は「0円」が36.7%

過去1年間に障害者総合支援法による障害福祉サービスを利用したことがある人(150人)に、平成25年9月の費用負担額(食費等実費負担額は除く)を聞いたところ、「0円」が36.7%で最も高かった。一方、「15,001円～24,600円(0.7%)」と「24,601円～37,200円(0.7%)」を合わせた15,001円以上の割合は1.3%となっている。(図IV-9-5)

問 あなたの障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担についてお聞きます。1か月にあなたが負担した額(食費等実費負担は除く)はいくらですか。

図IV-9-5 障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担



(7) 日常生活自立支援事業の利用意向－障害の程度、診断名〔複数回答〕、回答者別

日常生活自立支援事業の利用意向は「制度を知らない」と「わからない」が、ともに 28.1%

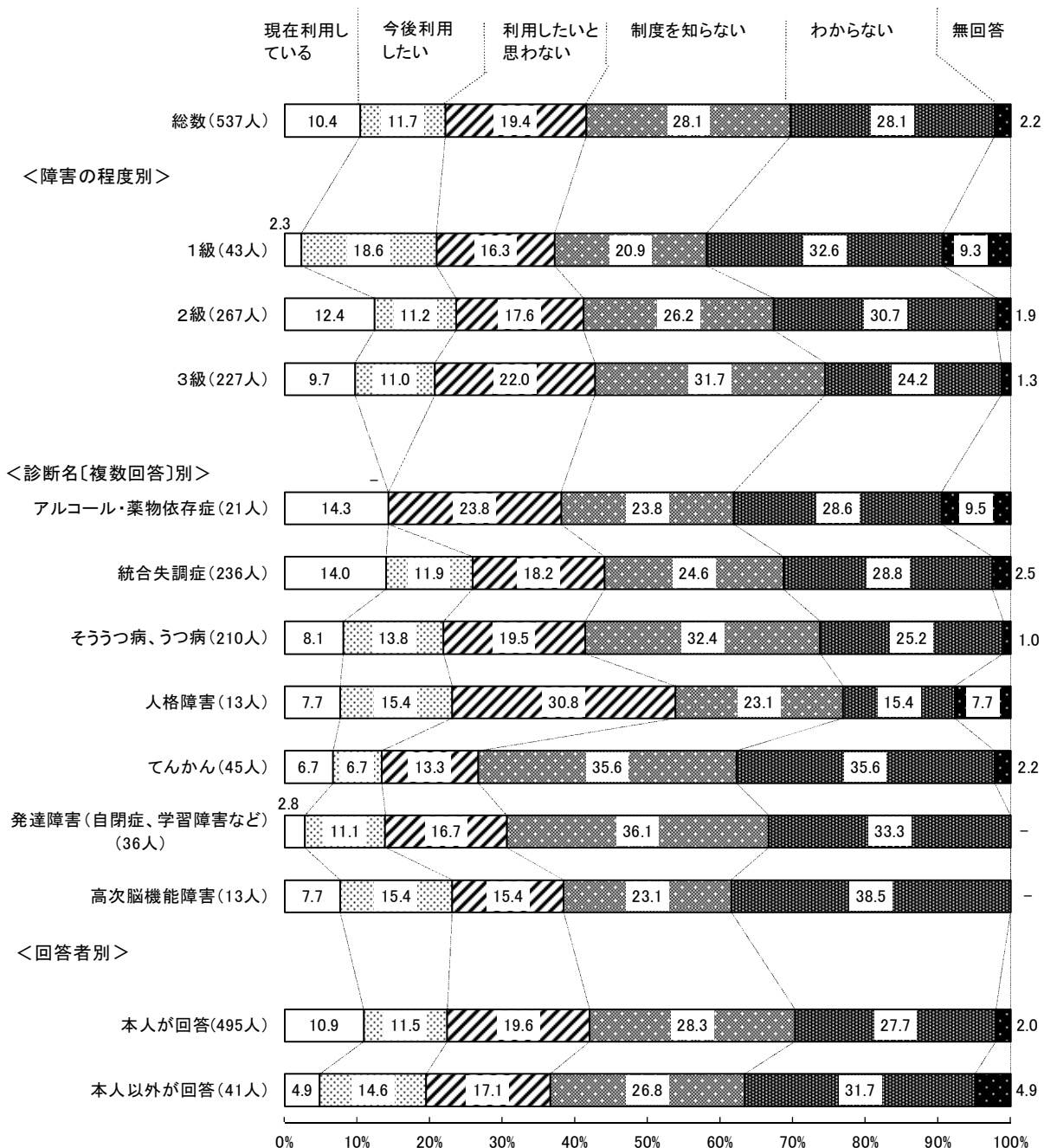
日常生活自立支援事業を利用するつもりがあるが聞いたところ「制度を知らない」と「わからない」の割合がともに 28.1%で最も高く、「今後利用したい」の割合は 11.7%であった。

障害の程度別にみると、程度が重くなるにつれて「制度を知らない」の割合は減少している。

(図Ⅳ-9-6)

問 あなたは、日常生活自立支援事業を利用するつもり（予定）がありますか。

図Ⅳ-9-6 日常生活自立支援事業の利用意向－障害の程度、診断名〔複数回答〕、回答者別



(注)回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

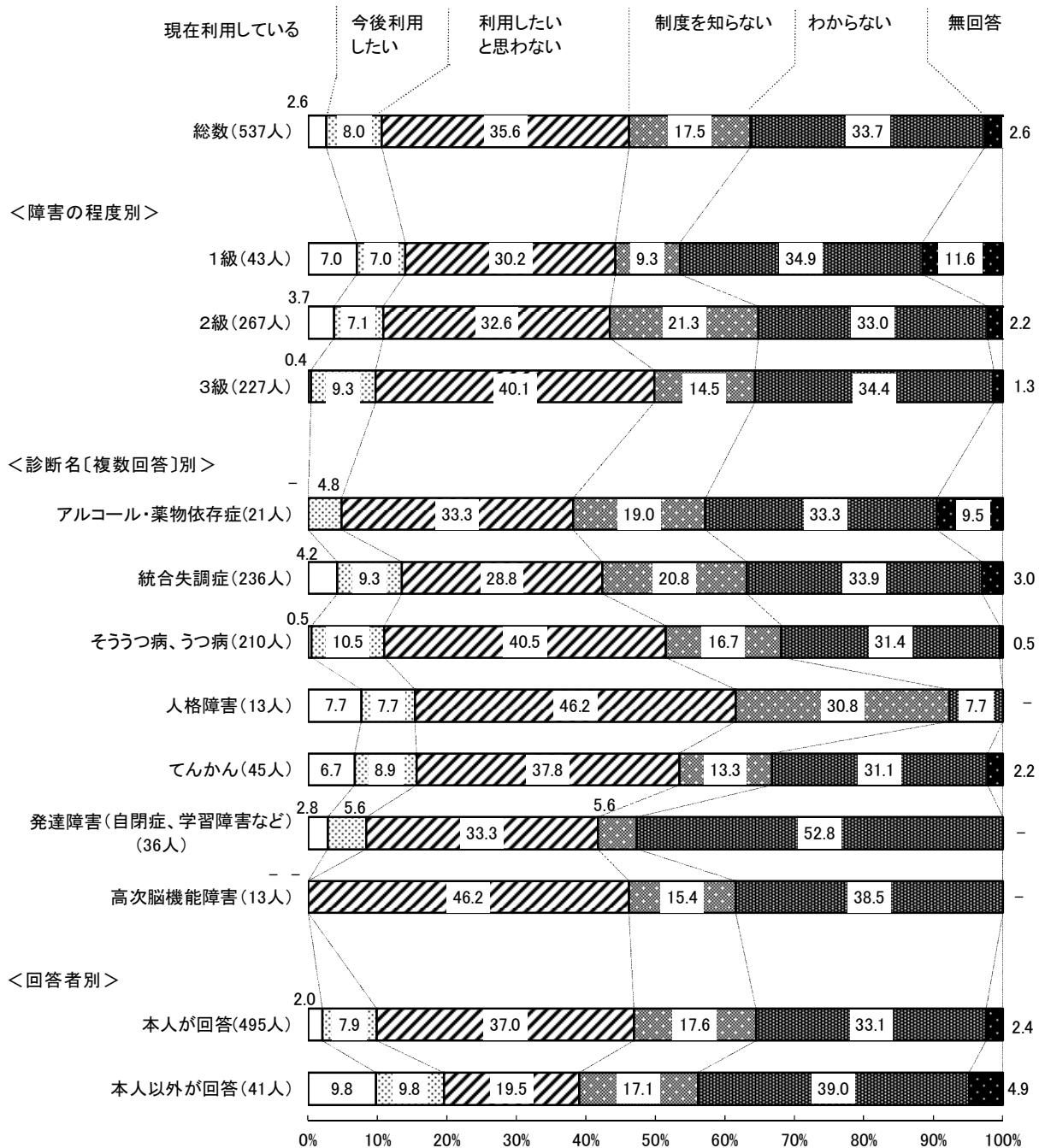
(8) 成年後見制度の利用意向－障害の程度、診断名〔複数回答〕、回答者別

せいねんこうけんせいど こんごりよう こた ひと わりあい
成年後見制度を「今後利用したい」と答えた人の割合は8.0%

成年後見制度を利用するつもりがあるが聞いたところ、「利用したいと思わない（35.6%）」と「わからない（33.7%）」の割合が高く、「今後利用したい」の割合は8.0%であった。（図IV-9-7）

と せいねんこうけんせいど りよう よてい
問 あなたは、成年後見制度を利用するつもり（予定）がありますか。

図IV-9-7 成年後見制度の利用意向－障害の程度、診断名〔複数回答〕、回答者別



(注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(9) 介護保険制度の利用の有無一年齢階級別

※調査基準日現在 40 歳以上の 397 人が対象

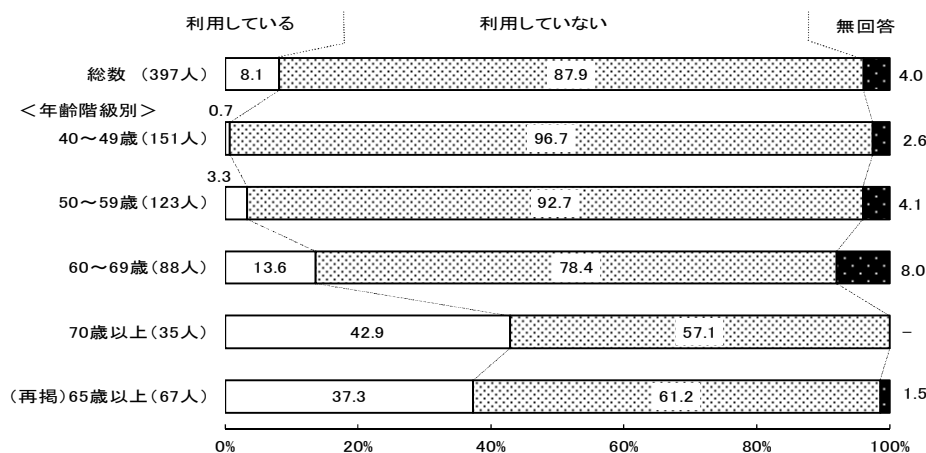
介護保険制度を「利用していない」人は 87.9%

平成 25 年 10 月 16 日現在、40 歳以上の人に介護保険制度の利用状況を聞いたところ「利用している」と答えた人の割合は 8.1%、「利用していない」は 87.9%であった。

年齢階級別にみると「利用している」割合は、70 歳以上で 42.9%となっている。(図Ⅳ-9-8)

問 あなたは、介護保険制度を利用していますか。

図Ⅳ-9-8 介護保険制度の利用の有無一年齢階級別



(10) 介護保険制度の要介護度

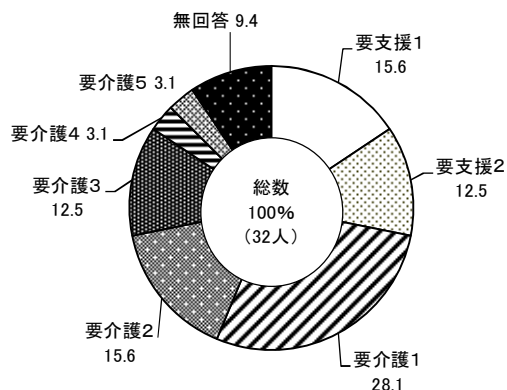
※介護保険制度を利用している 32 人が対象

介護保険制度を利用している人の要介護度は「要介護度1」の割合が最も高い

介護保険制度を利用している人の要介護度を聞いたところ、「要介護度 1」が 28.1%と最も高く、次いで「要支援 1」と「要介護度 2」が 15.6%となっている。(図Ⅳ-9-9)

問 あなたの要介護度は何度ですか。

図Ⅳ-9-9 介護保険制度の要介護度



(11) 介護保険法におけるサービスの費用負担

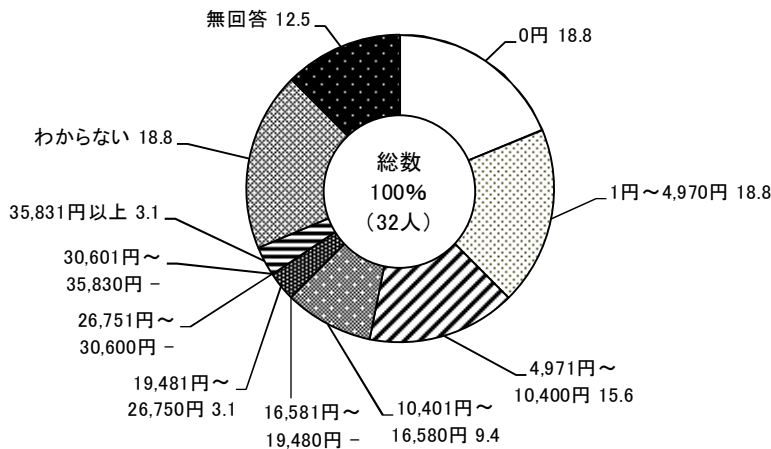
※介護保険制度を利用している 32 人が対象

介護保険法におけるサービスの費用負担額は「0円」と「1円～4,970円」の割合が最も高く、ともに 18.8%

介護保険法におけるサービスの費用負担額は「0円」及び「1円～4,970円」の割合が 18.8%と最も高い。(図Ⅳ-9-10)

問 あなたの介護保険法におけるサービスの費用負担についてお聞きます。1か月にあなたが負担する額（食費等実費負担額は除く）はいくらですか。

図Ⅳ-9-10 介護保険法におけるサービスの費用負担



(12) 介護保険で受けている在宅サービス〔複数回答〕

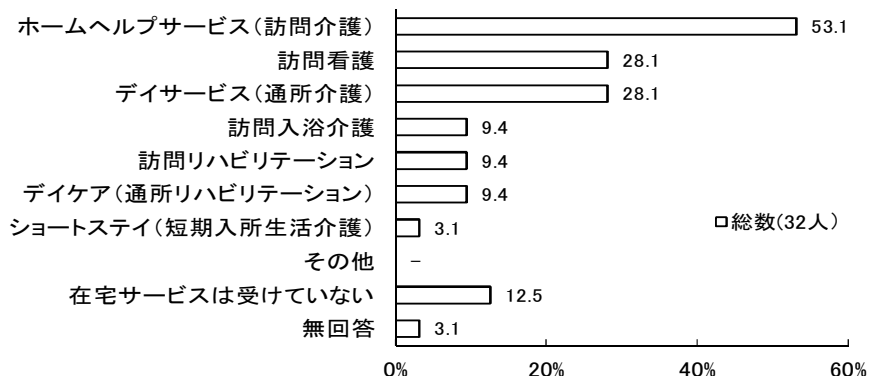
※介護保険制度を利用している 32 人が対象

介護保険で受けている在宅サービスは、「ホームヘルプサービス」が最も高く 53.1%

介護保険で受けている在宅サービスは、「ホームヘルプサービス（訪問介護）」の割合が 53.1%と最も高く、5割を超えている。(図Ⅳ-9-11)

問 あなたはどのような内容の在宅サービスを受けていますか。

図Ⅳ-9-11 介護保険で受けている在宅サービス〔複数回答〕



(13) 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容

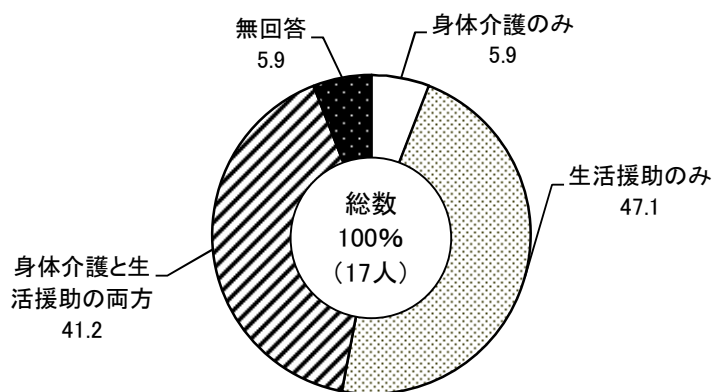
※ホームヘルプサービス（訪問介護）を受けている 17 人が対象

介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容は「生活援助のみ」が 47.1%

介護保険のホームヘルプサービスを受けている人にサービスの内容を聞いたところ、「生活援助のみ」の割合が 47.1%と最も高くなっている。（図Ⅳ-9-12）

問 あなたが受けているサービスの内容は何ですか。

図Ⅳ-9-12 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容



(14) 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていること

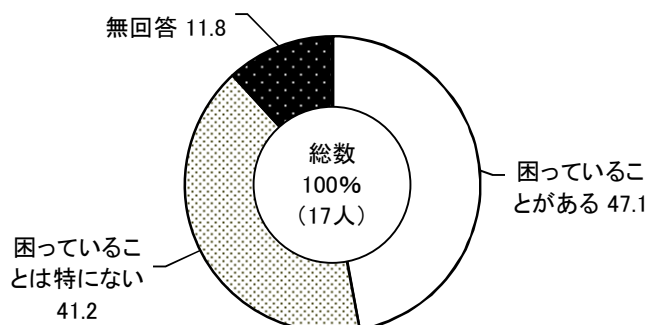
※ホームヘルプサービス（訪問介護）を受けている 17 人が対象

介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で「困っていることがある」の割合は 47.1%

介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていることがあるか聞いたところ「困っていることがある」の割合が 47.1%、「困っていることは特にない」の割合が 41.2%であった。（図Ⅳ-9-13）

問 サービスの内容で困っていることはありますか。

図Ⅳ-9-13 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていること



10 その他の福祉サービス等

(1) 精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったこと－障害の程度、診断名〔複数回答〕別

精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったことは「都内路線バスの運賃の割引があること」の割合が最も高い

精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったと思うことは「都内路線バスの運賃の割引があること」の割合が 17.7% で最も高く、20 年度調査と比べると 1.1 ポイント増加した。

診断名別にみると「都立公園、都立美術館などの利用料が無料になったこと」の割合は高次脳機能障害の割合が 30.8% と総数（8.0%）よりも高くなっている。（表Ⅳ-10-1）

問 精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったと思うことはありますか。

表Ⅳ-10-1 精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったこと

－障害の程度、診断名〔複数回答〕別

		総数	税金が安くなったこと	就労しやすくなったこと	都立公園、都立美術館などの利用料が無料になったこと	休養ホームが利用できること	生活保護の加算が増えたこと	都営交通乗車証が取得できたこと	都内路線バスの運賃の割引があること	その他	特にない	無回答
総数		100.0 (537)	8.8	3.0	8.0	0.7	6.7	16.0	17.7	5.6	21.0	12.5
障害の程度別	1級	100.0 (43)	11.6	－	9.3	－	4.7	7.0	9.3	4.7	32.6	20.9
	2級	100.0 (267)	7.9	2.2	6.4	0.7	11.2	15.0	18.0	6.0	21.3	11.2
	3級	100.0 (227)	9.3	4.4	9.7	0.9	1.8	18.9	18.9	5.3	18.5	12.3
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	4.8	－	4.8	－	23.8	14.3	19.0	9.5	4.8	19.0
	統合失調症	100.0 (236)	5.9	1.7	6.8	0.8	7.2	16.5	18.2	6.8	22.9	13.1
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	9.0	3.3	9.5	0.5	7.6	19.0	19.5	4.8	15.7	11.0
	人格障害	100.0 (13)	15.4	－	7.7	－	7.7	23.1	23.1	－	23.1	－
	てんかん	100.0 (45)	6.7	2.2	6.7	－	13.3	11.1	20.0	6.7	24.4	8.9
	発達障害（自閉症、学習障害など）	100.0 (36)	16.7	13.9	－	－	2.8	19.4	11.1	11.1	13.9	11.1
	高次脳機能障害	100.0 (13)	7.7	15.4	30.8	－	7.7	－	23.1	－	15.4	－
	その他	100.0 (75)	8.0	1.3	5.3	1.3	4.0	16.0	14.7	5.3	26.7	17.3
20年度		100.0 (529)	6.6	1.1	7.2	－	7.2	19.8	16.6	4.9	21.7	8.9

(2) 将来暮らしたいところ

一年齢階級、住居の種類、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

将来暮らしたいところは「家族が住んでいる家」が最も高く 44.3%

将来どこで暮らしたいか聞いたところ、「家族が住んでいる家」が最も高く 44.3%、次いで「わからない」が 20.7%となっている。

年齢階級別にみると、「家族が住んでいる家」と答えた割合は 29 歳以下と 70 歳以上で高く、ともに 5 割を超えている。

住居の種類別にみると、持家に住んでいる人では「家族が住んでいる家」と答えた割合が 60.3%と総数 (44.3%) に比べて高くなっている。(表Ⅳ-10-2)

問 あなたは、将来どこで暮らしたいと思いますか。

表Ⅳ-10-2 将来暮らしたいところ

一年齢階級、住居の種類、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		総 数	家 族 が 住 ん で い る 家	ケ ア ル ホ ー ム ホ ー ム 又 は	ム、 生 活 を 除 く ケ ア ル ホ ー ム 等 で	活 け グ ル ー プ ホ ー ム で	家 族 か ら 独 立 し て 生 活 す る 他	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
総数		100.0 (537)	44.3	5.6	19.0	8.9	20.7	1.5		
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	57.1	2.4	23.8	7.1	9.5	-		
	30～39歳	100.0 (98)	49.0	1.0	30.6	2.0	15.3	2.0		
	40～49歳	100.0 (151)	44.4	7.3	21.2	7.3	19.2	0.7		
	50～59歳	100.0 (123)	39.8	6.5	14.6	10.6	26.0	2.4		
	60～69歳	100.0 (88)	36.4	8.0	12.5	12.5	28.4	2.3		
	70歳以上	100.0 (35)	51.4	5.7	2.9	22.9	17.1	-		
	(再掲) 65歳以上	100.0 (67)	46.3	4.5	6.0	17.9	23.9	1.5		
住 居 の 種 類 別	持家	100.0 (194)	60.3	4.1	17.5	4.6	11.3	2.1		
	借家・賃貸住宅等	100.0 (293)	35.8	4.4	20.1	11.6	27.0	1.0		
	福祉ホーム、グループホーム、 ケアホーム	100.0 (16)	6.3	43.8	25.0	6.3	18.8	-		
現 在 一 緒 に 生 活 し て い る 人 〔 複 数 回 答 〕 別	親	100.0 (168)	62.5	4.2	20.8	1.8	9.5	1.2		
	配偶者	100.0 (100)	75.0	3.0	4.0	6.0	12.0	-		
	子供	100.0 (82)	67.1	6.1	9.8	4.9	11.0	1.2		
	兄弟姉妹	100.0 (51)	62.7	3.9	23.5	2.0	7.8	-		
	その他の親族	100.0 (12)	75.0	-	25.0	-	-	-		
	一人で暮らしている	100.0 (192)	11.5	7.3	26.0	17.2	35.4	2.6		
	その他	100.0 (13)	23.1	15.4	23.1	7.7	30.8	-		

(注) 「住居の種類」「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は 509 人

(3) 今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

今後利用したい福祉サービス等は、「相談サービス（地域活動支援センターなど）」の割合が最も高く、20年度調査よりも2.3ポイント増加し22.0%

今後利用したい福祉サービス等を聞いたところ、「相談サービス」（22.0%）、「就労支援サービス」（20.5%）、「情報提供の充実」（17.9%）の割合が高く、20年度調査と比べて「相談サービス」の割合が2.3ポイント増加した。

年齢階級別にみると「就労支援サービス」の割合は30代で最も高く40.8%となっている。

（表IV-10-3）

問 あなたが、今後利用したい福祉サービス等は何ですか。

表IV-10-3 今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

		総数	ホームヘルプサービス	通所サービス（作業所、授産施設など）	ショートステイサービス	相談支援センター（地域など）	就労支援サービス（障害者就業・生活支援センターなど）	情報提供の充実	訪問看護	デイケア	苦情処理（オンブズマン）	自助グループ活動	その他	特にない	無回答
総数		100.0 (537)	14.7	5.8	6.3	22.0	20.5	17.9	8.4	10.8	4.7	4.1	4.1	33.9	5.6
年齢階級別	29歳以下	100.0 (42)	7.1	4.8	7.1	16.7	28.6	26.2	9.5	11.9	4.8	2.4	-	21.4	14.3
	30～39歳	100.0 (98)	5.1	12.2	4.1	23.5	40.8	28.6	3.1	4.1	4.1	4.1	8.2	27.6	2.0
	40～49歳	100.0 (151)	13.2	6.6	4.6	23.2	20.5	20.5	7.3	9.3	2.6	6.6	2.6	33.8	6.6
	50～59歳	100.0 (123)	15.4	4.1	5.7	26.0	16.3	12.2	5.7	10.6	6.5	4.1	0.8	39.8	6.5
	60～69歳	100.0 (88)	23.9	2.3	5.7	19.3	8.0	11.4	14.8	17.0	5.7	1.1	9.1	36.4	4.5
	70歳以上	100.0 (35)	31.4	-	22.9	11.4	-	2.9	20.0	20.0	5.7	2.9	2.9	40.0	-
	（再掲）65歳以上	100.0 (67)	29.9	3.0	16.4	16.4	7.5	4.5	19.4	20.9	6.0	1.5	4.5	34.3	1.5
診断名（複数回答）別	アルコール・薬物依存症	100.0 (21)	14.3	4.8	9.5	23.8	14.3	19.0	-	19.0	9.5	9.5	-	33.3	9.5
	統合失調症	100.0 (236)	17.8	6.4	7.6	22.0	20.3	18.2	11.9	12.3	5.1	4.2	4.7	32.6	7.2
	そううつ病、うつ病	100.0 (210)	13.3	5.2	4.8	25.2	22.4	20.5	8.6	9.5	5.2	4.3	5.2	29.0	3.3
	人格障害	100.0 (13)	7.7	15.4	-	46.2	30.8	7.7	-	23.1	7.7	7.7	-	23.1	7.7
	てんかん	100.0 (45)	8.9	2.2	6.7	22.2	15.6	15.6	8.9	2.2	6.7	-	-	44.4	-
	発達障害（自閉症、学習障害など）	100.0 (36)	11.1	5.6	2.8	27.8	33.3	33.3	8.3	13.9	8.3	5.6	5.6	27.8	-
	高次脳機能障害	100.0 (13)	-	-	-	15.4	38.5	15.4	-	7.7	-	-	-	53.8	-
	その他	100.0 (75)	12.0	5.3	6.7	25.3	16.0	17.3	4.0	16.0	6.7	6.7	4.0	36.0	4.0
平日の日中主に過ごしたところ別	自分の家	100.0 (358)	16.2	4.5	6.7	20.9	15.6	16.8	8.7	10.1	4.2	4.2	3.6	36.9	5.6
	職場（福祉的就労の施設を除く）	100.0 (62)	6.5	6.5	1.6	27.4	35.5	22.6	3.2	3.2	6.5	3.2	4.8	32.3	-
	職場（福祉的就労の施設）	100.0 (28)	10.7	7.1	3.6	17.9	28.6	25.0	-	3.6	-	3.6	3.6	35.7	10.7
	通所施設（生活介護・自立訓練事業所など）	100.0 (14)	14.3	28.6	28.6	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3	-	7.1	14.3	-	-
	地域活動支援センター	100.0 (10)	20.0	20.0	10.0	60.0	20.0	30.0	10.0	20.0	10.0	20.0	-	-	10.0
	デイケア等	100.0 (25)	24.0	8.0	8.0	16.0	16.0	4.0	16.0	56.0	-	-	4.0	24.0	-
	入所施設	100.0 (15)	6.7	6.7	-	-	13.3	-	-	-	-	-	6.7	53.3	33.3
	その他	100.0 (18)	16.7	-	-	22.2	38.9	33.3	16.7	5.6	27.8	5.6	5.6	27.8	-
	20年度		100.0 (529)	19.7	11.7	8.9	19.7	20.2	16.1	9.8	14.2	5.3	5.5	4.3	27.0

（注）平日の日中主に過ごしたところの「学校」については、母集団が少数であるため省略した。

11 災害関係

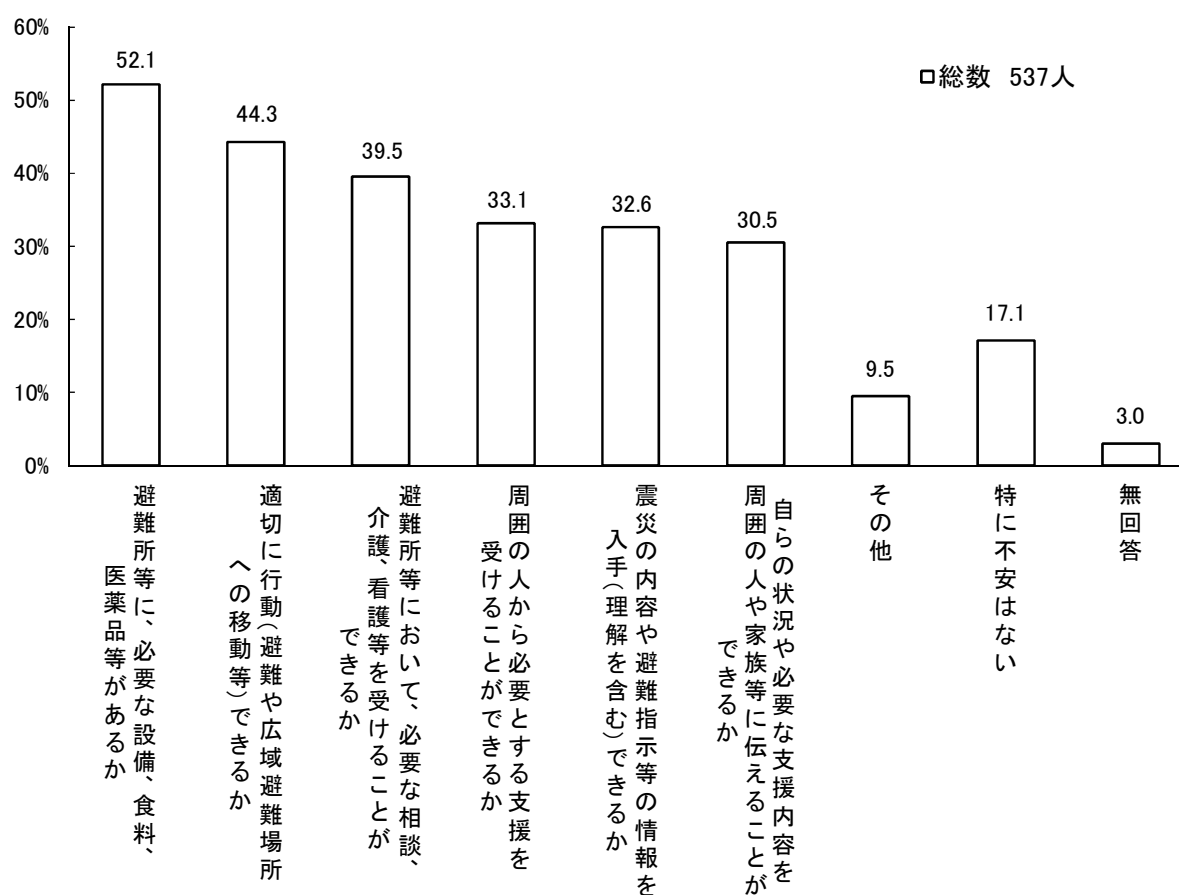
(1) 震災時に不安を感じる事〔複数回答〕

震災時に不安を感じることは、「避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか」が最も高く52.1%と5割を超えた

震災時に不安を感じることを聞いたところ、「避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか」と答えた人の割合が52.1%と最も高く、次いで「適切に行動（避難や広域避難場所への移動等）できるか」が44.3%となっている。（図IV-11-1）

問 あなたが、震災時に、不安を感じることは、何ですか。

図IV-11-1 震災時に不安を感じる事〔複数回答〕



(2) 震災時に不安を感じることを〔複数回答〕－障害の程度、年齢階級別

震災時に不安を感じることを障害の程度別にみると、「避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか」の割合は3級で56.4%と、他の程度に比べて高くなっている。

年齢階級別にみると、「避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか」の割合は30代で最も高く65.3%となっている。(表IV-11-1)

表IV-11-1 震災時に不安を感じることを〔複数回答〕－障害の程度、年齢階級別

		総 数	入 手 震 災 の 理 解 を 含 む 指 示 等 の 情 報 を	へ 適 切 に 行 動 し て 避 難 し や 広 域 避 難 場 所	で 周 自 ら の 人 や 家 族 等 に 伝 え 援 助 を が	受 周 困 の 人 が 必 要 と す る 支 援 を	で 介 護 、 看 護 等 を 受 け る こ と が	避 難 所 等 に お い て 、 必 要 な 相 談 、	医 薬 品 等 に あ る か	避 難 所 等 に 、 必 要 な 設 備 、 食 料 、	そ の 他	特 に 不 安 は な い	無 回 答
総数		100.0 (537)	32.6	44.3	30.5	33.1	39.5	52.1	9.5	17.1	3.0		
障 害 の 程 度 別	1級	100.0 (43)	32.6	41.9	30.2	34.9	32.6	37.2	11.6	9.3	16.3		
	2級	100.0 (267)	34.8	47.2	32.6	36.3	42.3	50.9	10.1	19.5	1.9		
	3級	100.0 (227)	30.0	41.4	28.2	29.1	37.4	<u>56.4</u>	8.4	15.9	1.8		
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (42)	26.2	31.0	35.7	28.6	26.2	54.8	11.9	14.3	4.8		
	30～39歳	100.0 (98)	30.6	40.8	43.9	41.8	41.8	<u>65.3</u>	6.1	14.3	2.0		
	40～49歳	100.0 (151)	37.7	50.3	31.8	32.5	39.1	54.3	14.6	9.9	3.3		
	50～59歳	100.0 (123)	35.8	43.9	27.6	35.0	42.3	54.5	7.3	17.9	5.7		
	60～69歳	100.0 (88)	28.4	42.0	19.3	25.0	39.8	36.4	8.0	27.3	—		
	70歳以上	100.0 (35)	22.9	51.4	20.0	31.4	40.0	34.3	5.7	31.4	—		
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (67)	22.4	46.3	14.9	23.9	40.3	31.3	6.0	29.9	—		

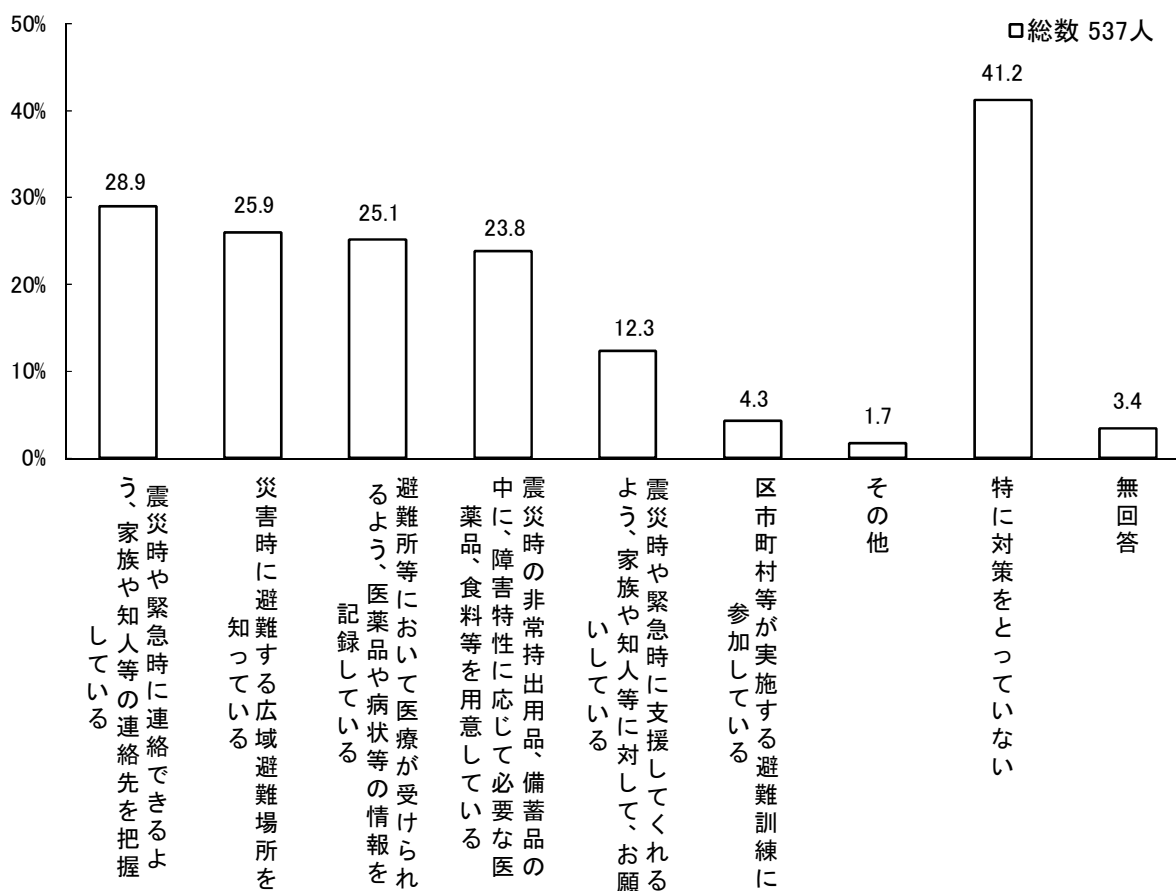
(3) 震災に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

「しんさいじ きんきゅうじ れんらく震災時や緊急時に連絡できるよかぞく ちじんとう れんらくさき はあくう、家族や知人等の連絡先を把握している」割合が28.9%
わりあい

震災に備えて、障害特性に応じて特別な対策をとっているか聞いたところ、「特に対策をとっていない」の割合が41.2%と最も高かった。対策をしている内容では、「震災時や緊急時に連絡できるよかぞく ちじんとう れんらくさき はあくう、家族や知人等の連絡先を把握している」の割合が最も高く28.9%であった。(図IV-11-2)

問 あなたは、しんさい震災に備えて、しょうがい障害特性に応じた特別な対策をとっていますか。
たい

図IV-11-2 震災に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕



(4) 震災に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

－障害の程度、年齢階級別

震災に備えて障害特性に応じて特別な対策をとっているかを、障害の程度別にみると、3 級では「特に対策をとっていない」の割合が 44.5%と 4 割を超えている。

年齢階級別にみると、29 歳以下では「震災時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」割合が 52.4%と、総数（28.9%）よりも大幅に高くなっている。（表Ⅳ-11-2）

表Ⅳ-11-2 震災に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

－障害の程度、年齢階級別

		総数	品、食料等を用意している	震災時の非常時に必要な医薬品の中	避難場所において医療の受け入れ	家族や知人等の連絡先を把握している	震災時や緊急時に連絡できるようお願いしている	震災時や緊急時に支援してくれよう	災害時に避難する広域避難場所を知っている	区市町村等が実施する避難訓練に参加している	その他	特に対策をとっていない	無回答
総数		100.0 (537)	23.8	25.1	28.9	12.3	25.9	4.3	1.7	41.2	3.4		
障害の程度別	1 級	100.0 (43)	25.6	18.6	16.3	18.6	16.3	4.7	7.0	37.2	9.3		
	2 級	100.0 (267)	24.3	23.6	29.2	10.1	27.0	5.2	1.1	39.0	3.7		
	3 級	100.0 (227)	22.9	28.2	30.8	13.7	26.4	3.1	1.3	44.5	1.8		
年齢階級別	29 歳以下	100.0 (42)	28.6	33.3	52.4	19.0	26.2	2.4	—	28.6	2.4		
	30～39 歳	100.0 (98)	23.5	26.5	33.7	11.2	26.5	2.0	1.0	37.8	3.1		
	40～49 歳	100.0 (151)	13.9	23.2	23.8	11.9	27.2	4.0	2.6	45.0	2.6		
	50～59 歳	100.0 (123)	29.3	28.5	25.2	10.6	28.5	4.1	0.8	36.6	5.7		
	60～69 歳	100.0 (88)	29.5	20.5	27.3	10.2	20.5	6.8	2.3	48.9	3.4		
	70 歳以上	100.0 (35)	28.6	20.0	25.7	20.0	22.9	8.6	2.9	45.7	—		
	(再掲)総数 65 歳以上	100.0 (67)	26.9	20.9	26.9	14.9	23.9	9.0	1.5	47.8	1.5		